

必ずお読みください



お使いになるうえでの注意事項

このたびは、弊社の製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本書では、本製品をお使いになるうえで知っておいていただきたいこと、参考にしていただきたいことを記載しています。添付のマニュアルと共に大切に保管してください。
なお、本書では、本パソコンがご購入時の設定であることを前提に説明しています。

お使いになるうえでの注意事項

ここでは、本パソコンに添付されているアプリケーションをお使いの際に、知っておいていただきたい注意事項を説明しています。お使いの機種によっては、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「技術情報」にも注意事項が記載されていることがありますので、合わせてご覧ください。

また、各アプリケーションのマニュアルやヘルプも合わせてご覧ください。

本書の表記について

- 機種名について

機種名を次のように表記しています。

機種名	本書での表記
FMV-DESKPOWER C/50L.C/45L.C/457.C/40L.C/407.C/405	Cシリーズ、またはC/50L.C/45L.C/457.C/40L.C/407.C/405
FMV-DESKPOWER M/45L.M/457.M/40L.M/407.M/405	Mシリーズ、またはM/45L.M/457.M/40L.M/407.M/405
FMV-DESKPOWER ME/355.ME/35B	MEシリーズ、またはME/355.ME/35B
FMV-DESKPOWER S/457	S/457
FMV-DESKPOWER Pliche model 40X.model 40	プリシェ
FMV-BIBLO NE/36LA.NE/36L.NE/36X.NE/33.NE/33E	NEシリーズ、またはNE/36LA.NE/36L.NE/36X.NE/33.NE/33E
FMV-BIBLO NR/33X	NR/33X
FMV-BIBLO MF/33	MF/33

- 製品の呼びかたについて

製品名称を次のように略して表記しています。

製品名称	本書での表記
FMV-DESKPOWER	DESKPOWER
FMV-BIBLO	BIBLO
FMV-DESKPOWER Pliche	プリシェ
Microsoft® Windows® 98 operating system	Windows98
Microsoft® Windows® 95 operating system	Windows95
Microsoft® Windows® operating system Version3.1	Windows3.1
Microsoft® WindowsNT® Workstation Operating System Version4.0	WindowsNT 4.0
Microsoft® Word2000 for Windows®	Word2000
Microsoft® Word98 for Windows®	Word98
Microsoft® Excel2000 for Windows®	Excel2000
Microsoft® Excel97 for Windows®	Excel97
Microsoft® Outlook™ 2000 for Windows®	Outlook2000
Microsoft® Outlook™ 98 for Windows®	Outlook98
Microsoft® Draw98 for Windows®	Draw98
Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic	Bookshelf Basic
Microsoft® NetMeeting™ Version2.1	Microsoft NetMeeting
Microsoft® IME 2000	MS-IME2000
Microsoft® IME 98	MS-IME98
Microsoft® Internet Explorer 5.00.2314.10031C	Internet Explorer
Microsoft® Outlook™ Express	Outlook Express
Microsoft® FrontPage Express™	FrontPage Express
ATOK12	ATOK
OAK V6.0	OAK
ロータス ノーツ パーソナル	ノーツ パーソナル
翻訳サーフィン(ホームページ翻訳) V5.0	翻訳サーフィン

製品名称	本書での表記
NIFTY MANAGER for Windows Version 5.00	ニフティマネジャー
ニフティサーブでインターネットfor Windows	はじめよう！ニフティサーブ
はじめよう！インターネット(InfoWeb)(無料体験付)	はじめよう！インターネット(InfoWeb)
辞書&検索ソフトシリーズ スーパー統合辞書99 広辞苑・新英和和英中辞典・漢字源・現代用語の基礎知識99	スーパー統合辞書99
ゼンリン電子地図帳Z[i] for FUJITSU	ゼンリン電子地図
バーチャル・サウンド・キャンバス VSC-88	VSC-88
Intellisync® for Notebooks	Intellisync
VirusScan for Windows 95/98	VirusScan
10円メールマスター Ver.2	10円メールマスター
柿木将棋Ⅱ for Windows® 95	柿木将棋Ⅱ
SANRIO TINY PARK VOL.4	SANRIO TINY PARK4
ロボワード Ver4.0 for Windows95/98	ロボワード
Keyboard Master完全版	キーボードマスター
おまかせ記文 V2	おまかせ記文
筆ぐるめVersion6.0 for Windows®	筆ぐるめ
筆まめVer.8富士通版	筆まめ
FM手帳(PersonalIntelligenceManager)	FM手帳
AOL4.0 for Windows95/98	AOL
栗原はるみのすてきレシピ	すてきレシピ

目次

第1章 必ずお読みください

● 全機種情報

A1. マニュアルの読み替えについて	1
A2. CD-ROM の取り扱いについて	1
A3. CD-ROM「かるがるパソコン入門」をお使いの方へ.....	1
A4. アプリケーション起動時のエラーについて	1
A5. Windows98 を終了するときの注意	1
A6. Windows98 の強制終了について.....	1
A7. Windows98 の CD-ROM について.....	1
A8. 「Windows」キーを押したときの動作について	2
A9. Windows98 の 2000 年対応について.....	2
A10. MS-DOS のアプリケーションをお使いの場合	2
A11. 省電力機能について.....	2
A12. Windows98 起動直後の注意	2
A13. フロッピーディスクのフォーマットについて.....	2
A14. スクリーンセーバーについて	2
A15. USB キーボードをお使いの方へ.....	3
A16. エクスプローラについて	3
A17. オブジェクトの挿入について	3
A18. 「アクセサリ」のペイントについて.....	3
A19. ダイヤラをお使いの場合	3
A20. Microsoft Backup でテープデバイスをお使いになる場合	4
A21. Word98、Excel97 について (Word98 モデルのみ)	4
A22. Microsoft® Photo Editor について (Office 2000 Personal モデル、Word98 モデルのみ)	4

A23.OASYS について (OASYS モデルのみ).....	5
A24.VirusScan について.....	5
A25.翻訳サーフィンについて.....	5
A26.アプリケーション「電話機能」について.....	5
A27.Direct 3D または Direct Draw 対応のゲームなどについて.....	5
A28.「FM かんたんバックアップ／データ」について.....	6
A29.画面の解像度や色数の変更について.....	6
A30.ACPI の設定でネットワーク上のファイルを利用する場合の注意.....	6
A31.ホームページが文字化けする場合.....	6
A32.Office 2000 Personal について (Office 2000 Personal モデルのみ).....	6

● 機種別情報

a1.セットすると自動ではじまる CD-ROM を使用する場合 BIBLO のみ.....	7
a2.マウスのスクロールボタンについて DESKPOWER のみ.....	7
a3.USBマウスについて ME シリーズのみ.....	7
a4.USB キーボードについて DESKPOWER のみ.....	8
C シリーズ,M シリーズ,ME シリーズ,S/457 のみ.....	8
M シリーズのみ.....	8
C シリーズのみ.....	8
ME シリーズのみ.....	8
a5.USB機器の接続について M シリーズ,ME シリーズのみ.....	8
a6.画面の乱れについて プリシェ,BIBLO のみ.....	8
a7.スクリーンセーバーについて BIBLO のみ.....	8
a8.PCカードの取り扱いについて BIBLO のみ.....	8
a9.スピーカーフォン機能について C/40L,C/407,C/405,M シリーズ,ME シリーズのみ.....	9
a10.Direct X 対応のソフトをお使いになる場合 DESKPOWER,NE シリーズ,MF/33 のみ.....	9
a11.CD-ROM をセットするときの注意 C シリーズ,プリシェ,BIBLO のみ.....	9
a12.通信切断時の音声について C/40L,C/407,C/405,M シリーズ,ME シリーズのみ.....	9
a13.「コントロールパネル」の「電源の管理」について DESKPOWER のみ.....	9
a14.Lotus 1-2-3 2000、Excel97、Word98 の表示について ME シリーズのみ.....	9
a15.「Update」フォルダのドライバについて C シリーズ,M シリーズ,ME シリーズ,S/457 のみ.....	9

第2章 必要に応じてお読みください

● 全機種情報

B1.キーボードの種類について.....	10
B2.画面の表示色について.....	10
B3.画面の解像度や色数の変更について.....	10
B4.画面の表示位置調整について.....	10
B5.画面にアイコン表示やウィンドウの一部などが残ってしまった場合.....	10
B6.MS-DOS モードで CD-ROM をお使いになる場合.....	11

B7.ご購入時に内蔵されている CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブの専用ドライバをお使いになる場合	11
B8.通信などでパソコンから電話をかける場合	12
B9.デスクトップの壁紙について	12
B10.タイトルバーのグラデーションについて	13
B11.タスクバーに「msime98mode」というボタンが表示される場合	13
B12.日本語入力システムについて	13
B13.コントロールパネルについて	13
B14.「コントロールパネル」の「マルチメディア」について	13
B15.「コントロールパネル」の「日付と時刻」について	13
B16.デフラグやスキャンディスクの実行について	13
B17.「コントロールパネル」の「システムのプロパティ」について	13
B18.「アクセサリ」の「サウンドレコーダー」について	13
B19.「アクセサリ」の「Windows Media Player」について	14
B20.「アクセサリ」の「ペイント」について	14
B21.「アクセサリ」の「拡大鏡」について	14
B22.「アクセサリ」の「システム情報」について	14
B23.「アクセサリ」の「システム情報」の「システムファイルチェッカー」について	14
B24.「アクセサリ」の「ディスククリーンアップ」について	14
B25.データファイルから直接アプリケーションを起動するときの注意	15
B26.アプリケーションのヘルプについて	15
B27.アプリケーションのインストールおよびアンインストールについて	15
B28.印刷プレビューについて	15
B29.Microsoft Exchange および Microsoft Fax について	15
B30.Outlook Express について	16
B31.Outlook98 について (Office 2000 Personal モデル,Word98 モデルのみ)	16
B32.一太郎 9・花子 9 パックについて (一太郎モデルのみ)	16
B33.ATOK について (一太郎モデルのみ)	16
B34.Lotus 1-2-3 2000 について (一太郎,OASYS モデルのみ)	17
B35.Net-It Now! Starter Edition について (一太郎,OASYS モデルのみ)	17
B36.ノーツ パーソナルについて (一太郎,OASYS モデルのみ)	17
B37.「Word2000&Excel2000 の虎の巻」、「Word98&Excel97 の虎の巻」、「一太郎 9&Lotus1-2-3 2000 の虎の巻」について	18
B38.OASYS について (OASYS モデルのみ)	18
B39.OASYS に付属の CD View について (OASYS モデルのみ)	18
B40.ニフティマネジャーについて	18
B41.ニフティサーブの利用料金について	19
B42.FAX 留守番電話について	19
B43.FM 手帳について	19
B44.FM 手帳と ZAURUS の連携について	19
B45.FM 便利ツールについて	20
B46.本パソコンの内蔵モデムについて	20
B47.別売モデムをお使いになる方へ	20
B48.「アクセサリ」の「ハイパーターミナル」について	20
B49.WAKE UP 機能について	20
B50.RealPlayer について	20
B51.インターネット上での RealAudio ファイル/ShockWave ファイルの再生について	20
B52.FM WORLD パソコン便利帳について	20
B53.はじめよう！インターネット(InfoWeb)について	21
B54.ポケベルコール機能について	21
B55.AOL について	21
B56.CPU 名の表示について	21
B57.FM Advisor について	21
B58. USB 機器の増設について	21
B59.インターネット(InfoWeb)無料体験について	21
B60.FMV サービスチャンネルについて	21
B61.音の出るアプリケーションをお使いになる場合	21

B62. ユーザ登録や加入手続きをオンラインで行うときの注意	22
B63. 複数のユーザが使用する設定で本パソコンをお使いの場合	22
B64. ゲームをお使いになる場合	22
B65. 文字が正しく表示されない場合	22
B66. スタートメニューの「お気に入り」について	22
B67. ヘッドホン使用時にノイズが気になる場合	22
B68. ディスプレイ・画面表示に異常がある場合	22
B69. 省電力機能について	23
B70. Microsoft NetMeeting について	23
B71. USB キーボードをお使いの方へ	23
B72. アプリケーションの「送信」機能をお使いになる場合	24
B73. FM 便利ツールで Office 2000 Personal をお使いになる場合（Office 2000 Personal モデルのみ）	24
B74. タッチおじさんメールについて	25
B75. 「コントロールパネル」の「ユーザー補助」について	25

● 機種別情報

b1. 画面の解像度や色数の変更について	
プリシェのみ	25
BIBLO のみ	25
b2. ディスプレイの交換について	
DESKPOWER のみ	25
b3. CD-ROM 読み込み中の省電力機能について	
BIBLO のみ	25
b4. 複数のオーディオソースを録音するとき	
C シリーズ, S/457, プリシェのみ	25
M シリーズのみ	26
b5. USB キーボードをお使いの方へ	
DESKPOWER のみ	26
b6. FDD ユニットの着脱について	
BIBLO のみ	26
b7. PMset98 について	26
BIBLO のみ	26
b8. 音楽をより良い音質でお聴きになりたい方へ	
BIBLO のみ	26
b9. 携帯電話を使って通信する場合	
BIBLO のみ	26
b10. 赤外線通信について	
プリシェ, BIBLO のみ	27
b11. 「コントロールパネル」の「赤外線モニタ」について	
BIBLO のみ	27
b12. マルチモニタについて	
C シリーズ, S/457 のみ	27
ME シリーズのみ	27
NE シリーズのみ	27
C/50L, C/45L, C/40L のみ	27
b13. PC カードをお使いの方へ	
BIBLO のみ	27
b14. IDE の DMA 転送について	
M シリーズ, ME シリーズ, プリシェのみ	28
b15. ATI タスクバーアイコンについて	
プリシェのみ	28
b16. Word98、Excel97 について（Word98 モデルのみ）	
プリシェのみ	28
b17. VSC-88 について	
MF/33 のみ	28
b18. 筆まめについて	

プリシェのみ.....	29
b19.筆ぐるめの住所録データをFM 手帳に読み込むときの注意	
Cシリーズ,Mシリーズ,MEシリーズ,S/457,BIBLOのみ.....	29
b20.筆まめの住所録データをFM 手帳に読み込むときの注意	
プリシェのみ.....	30
b21.ささと家計簿について	
Cシリーズ,Mシリーズ,ME/35B,S/457,プリシェ,NE/36LA,NE/36L,NE/36X,NE/33E,NR/33Xのみ.....	30
b22.サンリオアクセサリーについて	
Cシリーズ,Mシリーズ,ME/35B,S/457,プリシェ,NE/36LA,NE/36L,NE/36X,NE/33E,NR/33Xのみ.....	30
b23.ロボワードについて	
プリシェのみ.....	31
b24.らくらく写真館について	
Cシリーズ,Mシリーズ,ME/35B,S/457,プリシェ,NE/36LA,NE/36L,NE/36X,NE/33E,NR/33Xのみ.....	31
b25.「らくらく写真館」と「アクセサリ」の「拡大鏡」を同時にお使いになる場合の注意	
Cシリーズ,Mシリーズ,ME/35B,S/457,プリシェ,NE/36LA,NE/36L,NE/36X,NE/33E,NR/33Xのみ.....	31
b26.キーボードマスターについて	
プリシェのみ.....	31
b27.ゼンリン電子地図について	
Cシリーズ,Mシリーズ,ME/35B,S/457,プリシェ,NE/36LA,NE/36L,NE/36X,NE/33E,NR/33Xのみ.....	31
b28.お父さんのための釣りについて	
Cシリーズ,Mシリーズ,ME/35B,S/457,NE/36LA,NE/36L,NE/36X,NR/33Xのみ.....	32
b29.Intellisync について	
BIBLOのみ.....	32
b30.MF/33 のVGA 機能について.....	32
b31.MF/33 のサウンド機能について.....	33
b32.MF/33 に携帯電話を接続してお使いの場合.....	33
b33.「CD ボタンハンドラ」について (Windows 動作時のマルチベイヤアダプタの音楽 CD 再生用ボタン操作について)	
MF/33 のみ.....	34
b34.本体電源が OFF の状態で、マルチベイヤアダプタを CD プレイヤーとしてお使いになるとき	
MF/33 のみ.....	34
b35.「アクセサリ」の「サウンドレコーダー」について	
BIBLOのみ.....	34
b36.MPEG ファイルの再生について	
MEシリーズ,プリシェ,BIBLOのみ.....	34
b37.通信ジューク4、Music Box、DoReMiX について	
MF/33 のみ.....	34
b38.市販の MIDI 機器を接続するには	
DESKPOWER のみ.....	34
b39.ヘッドセットのサポートについて	
DESKPOWER のみ.....	34
b40.ナンバーディスプレイを契約されている電話回線をお使いの方へ	
C/50L,C/45L,C/457,S/457,プリシェのみ.....	35
C/40L,C/407,C/405,Mシリーズ,MEシリーズのみ.....	35
C/40L,C/407,C/405,Mシリーズ,MEシリーズ,BIBLOのみ.....	35
b41.FAX 留守番電話について	
C/50L,C/45L,C/457,S/457,プリシェのみ.....	35
C/50L,C/45L,C/457,S/457,プリシェ,BIBLOのみ.....	35
BIBLOのみ.....	35
MF/33 のみ.....	35
b42.FAX 留守番電話や FAX を使って自動受信を行う場合	
BIBLOのみ.....	36
b43.マイクとスピーカーを使った通話機能について	
C/50L,C/45L,C/457,プリシェ,S/457,BIBLOのみ.....	36
MF/33 のみ.....	36
b44.スピーカーフォン／通話録音・通話再生機能について	
C/50L,C/45L,C/457,S/457,プリシェのみ.....	36

b45. PEOPLE をお使いの方へ	
C/40L, C/407, C/405, Mシリーズ, ME シリーズのみ	36
b46. マスターネットをお使いの方へ	
DESKPOWER のみ	37
C/40L, C/407, C/405, Mシリーズ, ME シリーズのみ	37
b47. 1200bps でお使いの場合	
C/40L, C/407, C/405, Mシリーズ, ME シリーズのみ	37
b48. コントロールパネルの「ハードウェアの追加」について	
MF/33 のみ	37
b49. 休止状態 (Save To Disk 機能) について	
MF/33 のみ	37
b50. モデム着信によるレジュームについて	
BIBLO のみ	37
b51. 別売モデムをお使いになる方へ	
DESKPOWER のみ	37
b52. ソフトウェアカーソルについて	
ME シリーズのみ	37
b53. Direct3D の HAL (Hardware Abstraction Layer) の使用について	
DESKPOWER のみ	37
b54. 画面の乱れについて	
C シリーズのみ	37
b55. 壁紙の設定について	
NR/33X のみ	38
b56. Windows98 終了時の画面表示について	
NR/33X のみ	38
b57. モニタの設定について	
C シリーズ	38
b58. Start.wav について	
DESKPOWER のみ	38
b59. ACPIモードからAPMモードに変更する場合	
M シリーズ, ME シリーズのみ	38
b60. 別売の PS/2 キーボードや PS/2 マウスをお使いの方へ	
C/40L, C/407, C/405, ME シリーズのみ	38
b62. エラー画面表示について	
NE シリーズのみ	38
b63. マウスポインタの表示について	
NE シリーズのみ	38
b64. デバイスの削除／ドライバの更新について	
BIBLO のみ	38
b65. ドライバのアップデートについて	
BIBLO のみ	39
MF/33 のみ	39
NE シリーズのみ	39
NR/33X のみ	39
S/457 のみ	39
b66. 通信速度、および通信モードの設定について	
DESKPOWER のみ	39
b67. 「アクセサリ」の「外字エディタ」について	
プリシェ, BIBLO のみ	40
b68. 増設した拡張カードの MS-DOS 版ユーティリティを使う場合	
Cシリーズ, Mシリーズ, S/457, プリシェのみ	40
b69. 電源投入直後および再起動時のキーボード入力について	
Mシリーズのみ	40
b70. APMモードからACPIモードに変更する場合	
NR/33X のみ	40
NE シリーズのみ	40

b71.NE シリーズのディスプレイについて	40
b72.ディスプレイケーブルの接続について	
C シリーズ,M シリーズのみ	40
b73.FM-Menu をお使いになる場合 (Office 2000 Personal モデル除く)	
M シリーズ,C シリーズのみ	41
b74.Lotus 1-2-3 2000 使用中の省電力機能について	
C シリーズ,M シリーズのみ	41
b75.OASYS フロッピーのサポートについて	
ME シリーズのみ.....	41
b76.AC 復電時の動作について	
M シリーズ,ME シリーズのみ	41
b77.画面の表示について	
S/457 のみ	41
b78.ナンバーディスプレイ表示用アダプタをお使いの方へ	
C/40L,C/407,C/405,M シリーズ,ME シリーズのみ	41
b79.アプリケーション動作中の異音について	
Mシリーズのみ.....	41
b80.筆ぐるめの「恋文ペン字」フォントをお使いになる場合 (Office 2000 Personal モデルのみ)	
C シリーズ,M シリーズ,ME シリーズ,S/457,BIBLO のみ	42
b81.FrontPage Express について	
C シリーズ,M シリーズ,ME シリーズ,S/457,BIBLO のみ	42
b82.おまかせ記文について (Office 2000 Personal モデルのみ)	
プリシェのみ.....	42
b83.らんらんチャチャチャで Office 2000 Personal をお使いになる場合 (Office 2000 Personal モデルのみ)	
プリシェのみ.....	42
b84.市販のゲームの動画画面表示がスムーズに動かない場合	
S/457 のみ	43
b85.IDE規格のハードディスク、MO、CD-ROM等を増設する場合	
S/457 のみ	43
b86.電源 OFF の状態で E-mail ボタンをお使いになる場合	
NE シリーズのみ	43

第 1 章 必ずお読みください

●全機種情報

A1.マニュアルの読み替えについて

- 添付の各アプリケーションのマニュアルやヘルプ、補足説明などが記載されたファイル(README など)、画面に表示されるメッセージなどで、「Windows95」の記述があった場合は、「Windows98」と読み替えてください。
- 本パソコンでは、クリック操作を「シングルクリック」に設定しています。添付のマニュアル・README ファイル・ヘルプなどで「ダブルクリック」と記載されているものは、「クリック」に読み替えてください。
ただし、一部の操作では「クリック」ではなく、「ダブルクリック」で操作する必要があります。

A2.CD-ROM の取り扱いについて

読み込み中は、CD-ROM を取り出さないでください。アプリケーションが誤動作したり、システムが停止する場合があります。合わせて添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q CD-ROM を取り出したら青い画面になった」もご覧ください。

A3.CD-ROM「かるがるパソコン入門」をお使いの方へ

操作中まれに、「不正な処理」などのメッセージが表示される場合があります。この場合は、メッセージを閉じ、Windows98 を再起動してから、CD-ROM をセットし直してお使いください。

A4.アプリケーション起動時のエラーについて

次のようなエラーが発生した場合は、そのまま使用せず Windows98 を再起動させてください。

- 多くのアプリケーションを同時に起動したとき、システムのメモリが不足して、「例外エラー」や「ページ違反」が発生する場合があります。
- アプリケーションを終了したあと、「スタート」ボタンをクリックし、スタートメニューからメニュー項目を選択しようとすると、ごくまれにエラーメッセージが表示される場合があります。

A5.Windows98 を終了するときの注意

- アプリケーションのウィンドウを表示したまま Windows98 を終了または再起動すると、エラーメッセージが表示されるなど、Windows98 を正しく終了できない場合があります。また、Windows98 の終了または再起動中に、編集中的数据を保存するかどうかの確認メッセージが表示された場合、そこで保存するように指定しても正しく保存されない場合があります。Windows98 を終了または再起動する前に、必要なデータはすべて保存し、起動しているアプリケーションはすべて終了してください。
- アプリケーション(メモ帳やペイントなど)でファイルを新規に作成したあと Windows98 を終了するときに、作成したファイルが必要な場合は、必ずそのファイルを保存してから Windows98 を終了してください。ファイルを保存せずに Windows98 を終了しようとしたときにも、保存先やファイル名を指定するウィンドウが表示されますが、このとき日本語入力システムは使用できません。
- Windows98 を正常に再起動または終了できなくなった場合は、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。
- Windows98 を終了するときに、「このプログラムからの応答がありません。」というエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、表示されたエラーメッセージの「終了」をクリックすると、Windows98 は終了します。このあと、そのまま本パソコンをお使いいただいても問題はありません。

A6.Windows98 の強制終了について

Windows98 やアプリケーションの動作中に、「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを押すと、アプリケーションなどが強制終了されます。このとき、作成中のデータが保存できなかったり、使用中のデータが壊れてしまったりする可能性があります。不必要に強制終了はしないでください。

A7.Windows98 の CD-ROM について

本製品には、Windows98 の CD-ROM は添付されていません。ドライバのインストール時などに、Windows98 の CD-ROM をセットする旨のメッセージが表示された場合は、次のフォルダを参照させてください。

C:\¥Windows¥Options¥Cabs

A8.「Windows」キーを押したときの動作について

- アプリケーションが起動しているときなどに、「Windows」キーを押してもスタートメニューが表示されない場合があります。この場合は、マウスやフラットポイントを使って「スタート」ボタンをクリックしてください。
- アプリケーションを終了した直後や、メッセージなどが表示されたウィンドウを閉じた直後に「Windows」キーを押すと、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、「閉じる」をクリックしてエラーメッセージを閉じ、Windows98 を再起動してください。

A9.Windows98 の 2000 年対応について

インターネットにあるホームページ(FM WORLD)をご覧ください。アドレス(URL)は次のとおりです。

<http://www.fmworld.ne.jp/support/fm2000/index.html>

A10.MS-DOS のアプリケーションをお使いの場合

Windows 上で MS-DOS のアプリケーションをお使いになったあと、Windows のアイコンなどが崩れて表示される場合があります。この場合は、一度本パソコンを再起動させてお使いください。

A11.省電力機能について

- **マルチメディア関連ファイル(MPEG,AVI ファイルなど)の再生について**
アプリケーションの動作が不安定になるため、次のようなときは省電力機能を働かせないでください。
 - Wave,MIDI などの音声、音楽関連ファイルを再生しているとき
 - AVI,MPEG,DATなどの動画ファイルを再生しているとき
 - 音楽 CD を再生しているとき
 - 音の出るアプリケーションをお使いのとき
- **通信をする場合**
スピーカフォンやFAX留守番電話などの通信ソフトで通信中に、電源スイッチを押したりタイマー機能を使用するなどして、省電力機能を働かせないでください。通信が切断されたり、キーボードやマウスが使えなくなることがあります。ご購入時は、タイマーによる省電力機能が働いている設定になっています。設定を変更してお使いください。
- **フロッピーディスクアクセス中の省電力機能について**
フロッピーディスクアクセス中に省電力機能が働かないようにしてください。正常に動作が完了しない場合があります。

A12.Windows98 起動直後の注意

Windows98 を起動した直後に「Tab」キーを押すと、パソコンが動かなくなる場合があります。この場合は、「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを押して、Windows98 を再起動してください。Windows98 の起動直後は、「Tab」キーを押さないようにしてください。

A13.フロッピーディスクのフォーマットについて

フォーマットされていないフロッピーディスクのフォーマット中は、「フォーマット」ウィンドウの「キャンセル」をクリックしないでください。「キャンセル」をクリックすると、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを押して、Windows98 を再起動してください。

A14.スクリーンセーバーについて

- スクリーンセーバーを表示しているときに、画面にカーソル表示が残る場合があります。
- 「画面のプロパティ」の「背景」タブで「壁紙」を「(なし)」に設定した状態で、「スクリーンセーバー」タブで「60年代アメリカ」、または「サイエンス」を設定すると、スクリーンセーバーが動作したときに、画面上のアイコンなどが消えてしまいます。スクリーンセーバーに「60年代アメリカ」、または「サイエンス」を設定する場合は、必ず何らかの壁紙を設定してください。
- **「OpenGL スクリーンセーバー」について**
「OpenGLスクリーンセーバー」は、ご購入時はインストールされていません。このスクリーンセーバーをお使いになる場合は、「画面のプロパティ」で設定する前に、次の手順に従ってインストールしてください。
なお、OpenGL スクリーンセーバーに設定した場合に、いくつかの問題が発生する場合があります。あらかじめご了承ください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「アプリケーションの追加と削除」をクリックし、「Windows ファイル」タブをクリックします。
 3. 「ファイルの種類」の一覧から「アクセサリ」を選択し、「詳細」をクリックします。
「アクセサリ」ウィンドウが表示されます。

4. 「ファイルの種類」の一覧から「スクリーンセーバー」を選択し、「詳細」をクリックします。
「スクリーンセーバー」ウィンドウが表示されます。
5. 「ファイルの種類」の一覧の「OpenGL スクリーンセーバー」をクリックしてチェックマークをつけ、「OK」をクリックします。
「アクセサリ」ウィンドウに戻ります。
6. 「OK」をクリックします。
「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウに戻ります。
7. 「OK」をクリックします。
ファイルがコピーされます。これでインストールは終了です。

このあと、「画面のプロパティ」から「OpenGL スクリーンセーバー」を設定します。スクリーンセーバーの設定方法については、添付マニュアル『かるがるパソコン入門』をご覧ください。

● 「3D 迷路」をお使いの方へ

「3D 迷路」を使用中に省電力機能から復帰しないことがあります。スクリーンセーバーに「3D 迷路」を選択した場合、「設定」で「全画面表示にする」のチェックマークを外してお使いください。

● Office 2000 Personal モデル除く

ご購入時に設定されているスクリーンセーバー(Saver)では、パスワードによる保護の機能は働きません。あらかじめご了承ください。パスワードの保護の機能をお使いになる場合は、他のスクリーンセーバーに設定し直してください。スクリーンセーバーの設定方法については、添付マニュアル『かるがるパソコン入門』をご覧ください。

A15.USB キーボードをお使いの方へ

- MS-DOS モードでお使いのときに、USB キーボードから一度に大量の文字を入力すると、まれにシステムが停止する場合があります。
- 「システムのプロパティ」(「コントロールパネル」の「システム」アイコンをクリックすると表示されます)の「デバイスマネージャ」タブから任意のプロパティを開いた状態で省電力機能を働かせると、省電力状態から復帰したときにパソコンが反応しなくなる場合があります。この場合は、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください、Windows98 を強制的に再起動してください。
- 「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを押して強制終了する場合、「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されている状態で再度「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを押すと、エラーメッセージが表示され強制終了できなくなります。強制終了できなくなった場合は、電源スイッチで電源を切ってください。また、「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されている状態で再起動する場合は、「シャットダウン」をクリックしてください。
- 「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを押して「プログラムの強制終了」ウィンドウを表示したときに、強制終了せずにそのウィンドウを閉じる場合は、「キャンセル」をクリックしてください。「プログラムの強制終了」ウィンドウの右上の「閉じる」ボタンをクリックすると、パソコンが反応しなくなります。この場合は、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください、Windows98 を強制的に再起動してください。

A16.エクスプローラについて

エクスプローラでCD-ROMドライブの内容を表示したままWindows98を再起動したとき、その再起動中にCD-ROMを取り出すと、再起動した直後にエクスプローラが反応しなくなる場合があります。この場合は、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。

A17.オブジェクトの挿入について

ワープロソフトや表計算ソフトで、拡張子が「dat」の動画ファイルをオブジェクトとして挿入すると、エラーメッセージが表示され、ワープロソフトなどが終了する場合があります。この場合は、作成中のデータは保存されません。拡張子が「dat」の動画ファイルをオブジェクトとして挿入するときは、あらかじめ作成中のデータを保存しておくことをお勧めします。

A18.「アクセサリ」のペイントについて

Word2000、Word98、一太郎 9 などで作成した文書に貼り付けられたオブジェクトを編集する場合には、呼び出されたペイントのパレットの色が正しく表示されません。オブジェクトの編集は、貼り付ける前に行ってください。

A19.ダイヤラをお使いの場合

Windows98 の「アクセサリ」の「通信」の「ダイヤラ」では、スピーカーフォンはお使いになれません。電話機をお使いください。

A20.Microsoft Backup でテープデバイスをお使いになる場合

ご購入時、およびパソコンをふりだしに戻したときは、Microsoft Backup (「アクセサリ」の「バックアップ」) を使用してテープデバイスへはバックアップできません。Microsoft Backup でテープデバイスをお使いになる場合は、次の手順で Microsoft Backup を再インストールしてください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「アプリケーションの追加と削除」をクリックし、「Windows ファイル」タブをクリックします。
3. 「ファイルの種類」の一覧から「システムツール」を選択し、「詳細」をクリックします。
「システムツール」ウィンドウが表示されます。
4. 「ファイルの種類」の一覧から「Microsoft バックアップ」をクリックしてチェックマークを外し、「OK」をクリックします。
5. 「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウの「OK」をクリックします。
6. 画面に表示されるメッセージに従って、操作を進めます。
7. Microsoft Backup の削除が完了したら、手順 1.～手順 3.と同じように操作をします。
8. 「ファイルの種類」の一覧から「Microsoft バックアップ」をクリックしてチェックマークをつけ、「OK」をクリックします。
9. 「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウの「OK」をクリックします。
ファイルがコピーされます。これで操作は終了です。

ただし、Microsoft Backup を再インストールすると、本体背面のパラレルコネクタにプラグアンドプレイ対応の機器(プリンタなど)を接続した場合に、次のような問題が発生する場合があります。

- 接続した機器がまったく認識されない
- 本パソコンを起動するたびに、接続した機器が検出される
- 同じ機器を接続しても、検出されたり、検出されなかったりする
- 接続した機器の動作が不安定になる

上記のような問題が発生する場合、次の方法で回避できる場合があります。

- Windows98 を起動したあとに、パラレルコネクタに接続した機器の電源を入れる
- ドライバのインストールがうまくいかない場合は、「スタート」→「設定」→「プリンタ」をクリックし、「プリンタの追加」からインストールする

上記の手段は一例です。詳しくは、ご購入になった機器のメーカーに問い合わせるか、機器に添付のマニュアルをご覧ください。

A21.Word98、Excel97 について

(Word98 モデルのみ)

- ファイルを開くときに(「ファイル」メニューの「開く」など)、ファイルの検索先として CD-ROM ドライブを指定した場合、CD-ROM がセットされていないと、フロッピーディスクドライブが使用されていないといったメッセージが表示されます。この場合は、「キャンセル」をクリックするか、または、該当する CD-ROM をセットし、10 秒ほど待ってから「再試行」をクリックしてください。
- Word98、Excel97 をアンインストールするときに、要求された CD-ROM をセットせずに操作を続けると、本パソコンが動かなくなる場合があります。この場合は、「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを押して、Windows98 を再起動してください。また、CD-ROM が要求されたときは、必ず指定の CD-ROM をセットし、10 秒ほど待ってから、操作を続けてください。

● Word98 について

Microsoft® Photo Editor に関連付けされた画像ファイル(.gif、.jpg、.pcd)をオブジェクトとして文書中に挿入し、その画像ファイルを編集しようとすると、エラーメッセージが表示され、イメージが編集できない場合があります。この場合は、その文書を一度保存して閉じ、再度開くと編集できます。

● Excel97 について

- Excel97 の形式のファイルを、Lotus 1-2-3 2000 など他の形式に変換した場合、変換後のファイルを Excel97 で開くとエラーメッセージが表示され、そのファイルを開けなくなる場合があります。他の形式に変換するときは、そのファイルのバックアップをとってから変換することをお勧めします。
- Excel97 で、Visual Basic Editor を利用したワークシートを保存するときに、ファイルの種類を「Microsoft Excel97 および 5.0/95 ブック」にして保存すると、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、別の種類で保存してください。

A22.Microsoft® Photo Editor について

(Office 2000 Personal モデル、Word98 モデルのみ)

- Microsoft® Photo Editor で、「効果」メニュー内の項目を実行したあとに「イメージ」メニューの「調整」を行うと、画像の一部分にしかな調整が適用されない場合があります。この場合は、次の手順に従って、効果、調整の適用を行ってください。

1. 「効果」メニューの項目(例: テクスチャ)を選びます。

次のようなメッセージが表示されたら「はい」をクリックします。

「この効果を適用するには、イメージを 24 ビットの RGB カラーに変換する必要があります。変換しますか？」

2. 選択した効果の適用を行います。
 3. 「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」をクリックし、ファイルを保存します。
 4. 「ファイル」メニューの「閉じる」をクリックし、ファイルを閉じます。
 5. 「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、手順 3. で保存したファイルを再度開きます。
 6. 「イメージ」メニューの「調整」を行います。
調整が画像全体に適用されます。
- Microsoft® Photo Editor のウィンドウの上で他のウィンドウを移動すると、移動したウィンドウの輪郭などが Microsoft® Photo Editor のウィンドウに残る場合があります。この場合は、Microsoft® Photo Editor のウィンドウを、次の手順で再表示すると、輪郭などは消えます。
 1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
 2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、元の大きさに戻り、再表示されます。
 - Microsoft® Photo Editor の「効果」メニューの各機能をお使いのときに、表示されたウィンドウの「プレビュー」の個所に「メモリ不足です」と表示される場合があります。この場合は、次の方法で回避できる場合があります。
 - ハードディスクの空き領域を 1.33GB 以上にする。
ハードディスクの空き領域を増やす方法については、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』をご覧ください。
 - 「システムのプロパティ」(「コントロールパネル」の「システム」アイコンをクリックすると表示されます)の「パフォーマンス」タブにある「グラフィックス」をクリックし、「ハードウェア アクセラレータ」を「なし」に設定する。
この設定を変更したあと、本パソコンの再起動が必要です。設定を変更する前に、必要なデータはすべて保存し、起動しているアプリケーションはすべて終了してください。
 - **Office 2000 Personal モデルのみ**
Microsoft® Photo Editor の「効果」メニューの「ノートペーパー」はお使いになれません。あらかじめご了承ください。
なお、「ノートペーパー」を選択すると、エラーメッセージが表示されます。この場合は、エラーメッセージのウィンドウで「OK」をクリックし、そのまま続けてお使いください。

A23.OASYS について

(OASYS モデルのみ)

「デスクトップ」には、一太郎など他社の形式で文書を保存できません。

A24.VirusScan について

- エマージェンシーディスクの作成には、MS-DOS プロンプトで次のように入力し初期化したフロッピーディスクをお使いください。
Format A: /S
- ウィルスのスキャン中は、別のアプリケーションをお使いになるなど、他の操作を行わないでください。他の操作を行うと、まれにエラーメッセージが表示される場合があります。

A25.翻訳サーフィンについて

「コントロールパネル」の「ネットワーク」の「識別情報」タブでは、「コンピュータ名」として半角の英数字をお使いください。半角の英数字以外をお使いになると、翻訳サーフィンを起動したときにブラウザの初期化に失敗する場合があります。

A26.アプリケーション「電話機能」について

「FUJITSU FAX Print Driver」は、「電話機能」をアンインストールするとお使いになれなくなります。

A27.Direct 3D または Direct Draw 対応のゲームなどについて

Direct 3D または Direct Draw に対応したゲームなどをインストールするとき、ゲームソフトなどに添付されている Direct 3D または Direct Draw (以降 Direct X と略記します) ドライバをインストールすると、Windows98 を正常に起動できない場合があります。

- **インストール時の注意事項**
Direct X に対応したゲームなどをインストールするとき、①「現在のディスプレイドライバを Direct X ドライバに置き換えますか？」のメッセージが表示される場合と、②メッセージは表示されずに無条件に Direct X ドライバがインストールされる場合があります。①の場合は、メッセージに対して「置き換えない」を選択してください。②の場合は、本パソコンにすでにインストールされている Direct X ドライバと、ゲームソフトなどに添付されている Direct X ドライバのバージョンが異なると、画面が真っ暗になります。その場合は、ディスプレイドライバをインストールし直してください。インストール方法については、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「ディスプレイドライバをインストールする」をご覧ください。

A28.「FM かんたんバックアップ／データ」について

- FMかんたんバックアップのバックアップや復元処理中に、タブの切り替えをしないでください。
- 複数のユーザを設定してお使いのときに、「FM かんたんバックアップ／データ」で「複数ユーザ登録時データ」を復元する場合は、いったんログオフし、ユーザ名の選択時に「キャンセル」をクリックしてログオンし直したあと行ってください。そのまま復元を行うと、「index をコピーできません。」というエラーメッセージが表示される場合があります。エラーメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックして復元処理を終了させたあと、前述のようにログオンし直して再度復元を行ってください。

A29.画面の解像度や色数の変更について

画面の解像度や色数を変更する場合は、必ずアプリケーションを終了してから行ってください。

また、変更後に再起動の要求があった場合は、必ず Windows98 を再起動してください。再起動せずにお使いになると、パソコンの動作が不安定になる場合があります。

なお、解像度や色数の変更時の再起動については、「B3.画面の解像度や色数の変更について」にも注意して頂きたいことが記載されています。合わせてご覧ください。

A30.ACPI の設定でネットワーク上のファイルを利用する場合の注意

ACPI の設定でネットワーク上のファイルを編集しているときは、省電力機能を働かせないでください。省電力状態になると、編集中のファイルが正しく保存できない場合があります。

A31.ホームページが文字化けする場合

ホームページを表示したとき、文字化け(本来の文字とは全く関係のない文字が表示されること)する場合があります。この場合は、次の手順で正しく表示される場合があります。

1. 「表示」メニューをクリックします。
2. 「エンコード」にマウスポインタを合わせ、「日本語(自動選択)」をクリックします。
それでも正しく表示されない場合は、次の手順を試してください。
1. 「表示」メニューをクリックします。
2. 「エンコード」にマウスポインタを合わせ、「日本語(シフト JIS)」または「日本語(EUC)」をクリックします。
それでも正しく表示されない場合は、次の手順を試してください。
1. 「表示」メニューをクリックします。
2. 「エンコード」の「自動選択」にチェックマークがついていないことを確認します。
チェックマークがついている場合は、クリックしてチェックマークを外します。

A32.Office 2000 Personal について

(Office 2000 Personal モデルのみ)

- Office アシスタント(ご購入時はイルカに設定されています)を表示して操作をしているときに、Office アシスタントの一部などの残像が残る場合があります。この場合は、残像が残ったウィンドウを次の手順で再表示すると、残像は消えます。

1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、元の大きさに戻り、再表示されます。

なお、ご購入時の状態では、次の操作をしたときに、残像が残る場合があることが確認されています。

- Excel2000 などの「印刷プレビュー」のウィンドウをスクロールしたとき
- Excel2000 などで、描画した図形を移動したとき
- Office アシスタントをドラッグして移動したとき
なお、この場合は、「FM 便利ツール」のマスコットや、「サンリオアクセサリー」の「アナログ時計」など、四角ではないウィンドウをドラッグして移動したときにも、残像が残る場合があります。
- Excel2000 をお使いの場合、次の状態のときはシート名を変更しないでください。
描画した図形や、貼り付けたオブジェクトなどを選択した状態(図形などの回りに□が表示されている状態)。
この状態でシート名を変更すると、エラーメッセージが表示され、Excel2000 が終了してしまう場合があります。この場合は、作成中のデータは保存されません。ご注意ください。
なお、このあと引き続き本パソコンをお使いになる場合は、Windows98 を再起動してからお使いください。
- Excel2000 または Word2000 をお使いのときに、「挿入」メニューの「図」から「クリップアート」を選択し、「クリップアートの挿入」ウィンドウを表示している場合は、省電力機能を働かせないでください。「クリップアートの挿入」ウィンドウを表示したまま省電力機能を働かせると、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、エラーメッセージのウィンドウで「閉じる」をクリックすると、省電力機能が働きます。
なお、省電力状態から復帰したあと、引き続き本パソコンをお使いになる場合は、Windows98 を再起動してからお使いください。

- Outlook2000 を初めて起動したときに、競合を解消するかどうかをたずねるメッセージが表示される場合があります。この場合は、「はい」をクリックしてください。
- Internet Explorer 5.0 をアンインストールすると、Office 2000 Personal は使用できなくなります。ご注意ください。
- MS-IME2000 は、Windows98 標準の MS-IME98 を置き換える形でインストールされています。「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」からセットアップダイアログを起動しても、「すべて削除」が選択できずアンインストールできません。

● ME/355 をお使いの方のみ

ご購入時には、次の理由により、「Arial Unicode MS」フォントがインストールされていません。「Arial Unicode MS」フォントは使用できませんので、あらかじめご了承ください。

「Arial Unicode MS」フォントがインストールされていると、Excel2000 のツールバーのフォントメニューから「Arial Unicode MS」を選択しようとする、パソコンが反応しなくなる

この場合は、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧になり、記載の手順に従ってください。

なお、パソコンをふりだしにもどすときなど、Office 2000 Personal を再インストールする場合は、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「第 4 章 パソコンをふりだしにもどす」に記載のインストール手順に必ず従ってください。誤って「Arial Unicode MS」フォントをインストールしてしまった場合は、次の手順に従って、「Arial Unicode MS」フォントを削除してください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「アプリケーションの追加と削除」をクリックします。
3. 「Microsoft Office 2000 Personal」をクリックし、「追加と削除」をクリックします。
4. 「Microsoft Office 2000 メンテナンスモード」ダイアログが表示されます。
5. 「機能の追加/削除」をクリックします。
6. 「Office ツール」横の「+」をクリックします。
7. 「インターナショナルサポート」横の「+」をクリックします。
8. 「ユニバーサルフォント」横のハードディスクアイコンをクリックし、「インストールしない」をクリックします。
9. 「完了」をクリックします。
10. 「OK」をクリックします。

「Microsoft Office 2000 Personal のセットアップが正常に終了しました」と表示されます。

このあと、「コントロールパネル」の「フォント」で「Arial Unicode MS」を削除してください。

● 機種別情報

a1. セットすると自動ではじまる CD-ROM を使用する場合

BIBLO のみ

セットすると自動ではじまる CD-ROM を使用しているときに省電力機能が働くと、省電力機能から復帰したときに CD-ROM が二重に起動してしまい、誤動作の原因となります。二重に起動してしまった場合は、CD-ROM のアプリケーションを一度すべて終了し、CD-ROM をセットし直してください。

a2. マウスのスクロールボタンについて

DESKPOWER のみ

DESKPOWER に添付されているマウスには、スクロールボタンがついています。このスクロールボタンの使い方は、アプリケーションによって異なります。また、アプリケーションによっては、スクロールボタンをお使いになれない場合があります。あらかじめご了承ください。

なお、スクロールボタンの基本的な使い方については、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「スクロールボタンを使う」をご覧ください。

a3. USBマウスについて

ME シリーズのみ

Windows98 の Safe モード、DOS モードでは USB マウスをサポートしていません。Safe モードでパソコンが起動した場合は、キーボードで次の操作を行い本パソコンを再起動してください。

1. 「Windows」キーを押します。
2. 「↑」キーを押します。
3. 「Enter」キーを押します。
4. 「↑」キーと「↓」キーで「再起動する」を選択します。

5. 「Enter」キーを押します。

なお、キーボードでも操作することができます。

- 「Windows」キー : スタートメニューを開くことができます。
- 「TAB」キー : 項目を移動する事ができます。
- 「↑」、「→」、「↓」、「←」キー : リストの中のカーソル(青の反転表示)を移動することができます。
- 「ALT」キーと「ESC」キー同時押下 : アクティブウィンドウを切り替えることができます。
- 「ALT」キーと英字キー同時押下 : アクティブウィンドウのメニューを開くことができます。
- 「Enter」キー : 反転表示されている項目を選択します。
- 「ESC」キー : 取り消します。

たとえば、「Windows」キーを押し、「↑」キーで「設定」にカーソルを合わせ、「→」キーで表示されるメニューの「コントロール パネル」にカーソルがあることを確認して「Enter」キーを押すと、コントロールパネルを起動することができます。

a4.USB キーボードについて

DESKPOWER のみ

- ご購入時、「PS/2 互換マウスポート」について次のように表示されますが、お使いになるうえではまったく問題ありません。そのままお使いください。
- 「システムのプロパティ」(「コントロールパネル」の「システム」アイコンをクリックすると表示されます)の「デバイスマネージャ」タブにある「PS/2 互換マウスポート」の項目に「！」マークが表示されます。
- 「アクセサリ」の「システム情報」で、「問題のあるデバイス」として「PS/2 互換マウスポート」が表示されます。

C シリーズ,M シリーズ,ME シリーズ,S/457 のみ

WindowsNT4.0 をお使いになる場合は、添付のUSBキーボード・マウスはお使いになれません。別売の PS/2 インタフェースのキーボード、マウスをお使いください。

M シリーズのみ

WindowsNT4.0 をお使いになる場合は、BIOS セットアップの設定で、「詳細設定」の「内蔵デバイス設定」を選択し、「USB コントローラ」を「使用しない」に設定してください。

C シリーズのみ

省電力機能が働いている際に、USB キーボードや USB マウスでは、省電力機能から復帰できない場合があります。この場合は、電源スイッチを1回押して省電力機能から復帰させてください。

ME シリーズのみ

DOS モード、Safe モードではUSBキーボードのランプは点灯しません。また、キーボード上部のワンタッチボタンはお使いになれません。ワンタッチボタンは押さないでください。

a5.USB機器の接続について

M シリーズ,ME シリーズのみ

電源が入っている状態で、USB コネクタを抜き差しすると、まれにキーボードとマウスが使用できなくなったり、接続した USB 機器が正しく動作しないことがあります。電源スイッチを押して省電力状態にしたあと、再度電源スイッチを押してください。それでも復旧できない場合は、5秒以上電源スイッチを押して電源を切ってから再度電源を入れ直してください。また、抜き差しする場合は、数秒間待った後行ってください。

a6.画面の乱れについて

ブリシェ,BIBLO のみ

省電力機能から復帰するときなど、画面表示の開始時や表示モードが切り替わるとき、一時的に画面が乱れる場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

a7.スクリーンセーバーについて

BIBLO のみ

省電力機能を設定しているときに、スクリーンセーバーが起動したあと、まれに省電力機能が働かない場合があります。この場合は、どちらかの設定を解除してください。

a8.PCカードの取り扱いについて

BIBLO のみ

Windows98 を使用中に PC カードを取り外したい場合は、必ず次の手順で行ってください。

1. 画面右下のタスクバーにあるPCカードアイコンをクリックします。
「×××の中止」が表示されます(×××はお使いの PC カードにより表示が異なります)。
2. 「×××の中止」にカーソルを合わせ、クリックします。

3. 「このデバイスは安全に取りはずせます」と表示されたら、「OK」をクリックします。

PC カードを取り外してください。

タスクバーにあるPCカードアイコンをダブルクリックしたり、コントロールパネルでPCカードアイコンをクリックして表示される「PC カード(PCMCIA)のプロパティ」から「停止」をクリックしての取り出しは行わないでください。システムが不安定になる場合があります。

a9.スピーカーフォン機能について

C/40L,C/407,C/405,M シリーズ,ME シリーズのみ

内蔵モデムではスピーカーフォン機能はお使いになれません。あらかじめご了承ください。

a10.Direct X 対応のソフトをお使いになる場合

DESKPOWER,NE シリーズ,MF/33 のみ

本パソコンにインストールされているディスプレイドライバは Direct X6 対応であり、Direct X1、X2、X3、X5 のランタイムはインストールすることができません。必ず Direct X6 のランタイムをお使いください。

a11.CD-ROM をセットするときの注意

C シリーズ,プリシェ,BIBLO のみ

CD-ROMドライブのトレイ中央の突起に CD-ROM の穴を合わせ、パチッと音がするまでしっかりとはめ込んでください。きちんとはめ込まないと、CD-ROM などの媒体が CD-ROMドライブ内部で外れ、トレイやドライブ内部および CD-ROM を破損する原因となる場合があります。

a12.通信切断時の音声について

C/40L,C/407,C/405,M シリーズ,ME シリーズのみ

回線切断時や通信アプリケーション終了時に、音声が続音になったり途切れたりすることがありますが、故障ではありません。

a13.「コントロールパネル」の「電源の管理」について

DESKPOWER のみ

「電源の管理のプロパティ」(「コントロールパネル」の「電源の管理」をクリックすると表示されます)の「詳細」タブの「コンピュータのスリープボタンを押したとき」の設定によって、キーボードのスタンバイボタン(三日月マークの緑色のボタン)を押したときの動作を、次のいずれかに切り替えることができます。

- スタンバイ : ボタンを押したときに省電力状態になります。(ご購入時はこちらに設定されています。)
- シャットダウン : ボタンを押したときに電源が切れます。

この設定が表示されない場合があります。この場合は、「電源の管理のプロパティ」を閉じ、一度省電力機能を働かせてください。省電力機能から復帰したあと、再度「電源の管理のプロパティ」を表示すると、前述の設定項目が表示されます。

なお、電源スイッチ、スタンバイボタンのどちらも「シャットダウン」の設定になっている場合は、「スタート」ボタンから省電力機能を働かせてください(「スタート」ボタンの「Windows の終了」をクリックしたあと、「スタンバイ」を選択し「OK」をクリックします)。

a14.Lotus 1-2-3 2000、Excel97、Word98 の表示について

ME シリーズのみ

Lotus 1-2-3 2000、Excel97、Word98 において、図形やグラフの一部が欠けて表示される場合があります。この場合は、再描画すると正常に表示されます。

a15.「Update」フォルダのドライバについて

C シリーズ,M シリーズ,ME シリーズ,S/457 のみ

お使いになるうえで不具合があった場合、「アプリケーション CD」の「Update」フォルダにあるドライバをお使いください。詳しくは、「アプリケーション CD」の「Update」フォルダにある「README.TXT」をご覧ください。

第 2 章 必要に応じてお読みください

● 全機種情報

B1. キーボードの種類について

本パソコンに添付されているキーボードは、「109 日本語キーボード」という種類です。

しかし、「システムのプロパティ」ウィンドウでは「106 日本語キーボード」と表示されています。

アプリケーションをインストールしたときに、キーボードの種類を選択する場合がありますが、この場合は「106 日本語(A01) キーボード (Ctrl+英数)」を選んでください。

B2. 画面の表示色について

画面の表示色を変更すると(256 色に変更したときは特に)、次のようになる場合があります。

- スクリーンセーバーから復帰したときに、背景の色が反転して表示される
- アプリケーションによっては、色が正しく表示されない
- アプリケーションによっては、ウィンドウを切り替えたときに異常な色で表示される

アプリケーションのマニュアルで特に色数を変更する指示がない場合は、ご購入時の色数でお使いください(ご購入時の色数については、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』をご覧ください)。別途市販のアプリケーションをご購入したい場合は、各アプリケーションに記載されている動作環境をご確認のうえ、ご購入ください。

B3. 画面の解像度や色数の変更について

- 画面の色数および解像度を変更したとき、デスクトップ上の FMV サービスチャンネルなどの位置がずれる場合や、一部のアプリケーションでウィンドウが画面からはみ出す場合があります。この場合は、ウィンドウをドラッグして正しい位置に移動するか、色数および解像度を元の状態に戻してください。
- 「画面のプロパティ」ウィンドウ(「コントロールパネル」の「画面」をクリックすると表示されます)で解像度や色数を変更したとき、Windows98 の再起動が必要な場合は、「互換性の警告」ウィンドウで「再起動しないで新しい色の設定を適用する」を選択し、「スタート」ボタンの「Windows の終了」から再起動することをお勧めします。「互換性の警告」ウィンドウから Windows98 を再起動したとき、まれにシステムが停止する場合があります。この場合は、「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを押して、Windows98 を再起動してください。
- 解像度を変更した直後に、日本語入力システムのツールバーを移動すると、移動する前の位置にツールバーが表示されたままになる場合があります。この場合は、デスクトップの何も表示されていないところ(アイコンやウィンドウなどが表示されていないところ)をクリックしてください。元の位置のツールバーが消えます。
- 画面の解像度を切り替える場合は、次の手順に従って、あらかじめアクティブデスクトップの設定を解除してください。アクティブデスクトップの設定を解除せずに解像度を切り替えると、エラーメッセージが表示される場合があります。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」、「アクティブデスクトップ」の順にマウスポインタを合わせ、「Web ページで表示」をクリックします。

「Web ページで表示」のチェックマークが消え、アクティブデスクトップの設定が解除されます。

また、解像度を切り替えたあとは、再度上記の操作を行い、チェックマークをつけてアクティブデスクトップの設定を元に戻してください。

- 解像度、色数を変更する場合は、必ずアプリケーションを終了させてから行ってください。また、画面の表示が乱れることがありますので、変更後は必ず本パソコンを再起動してください。

B4. 画面の表示位置調整について

画面の表示モードやディスプレイの種類によっては、画面が中央に表示されない場合があります。この場合は、ディスプレイ側で調整してください。

B5. 画面にアイコン表示やウィンドウの一部などが残ってしまった場合

アプリケーションをお使いになっているときに、アイコン表示やウィンドウの一部などが画面に残ってしまう場合があります。この場合は、次の手順で、ウィンドウの再表示を行ってみてください。

1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、元の大きさに戻り、再表示されます。

B6. MS-DOS モードで CD-ROM をお使いになる場合

ご購入時はドライバが組み込まれていないため、MS-DOS モードで CD-ROM がお使いになれません。
Windows98 を起動した状態にして、次の手順でドライバを組み込んでください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」の順にマウスポインタを合わせ、「メモ帳」をクリックします。
2. 「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、「ファイル名」に次のように入力します。
`c:\config.sys`
3. 「開く」をクリックします。
4. 次の行の「REM」を削除します。
`REM DEVICE=C:\REALMODE\OAKCDROM.SYS /D:OEMCD001`
↓
`DEVICE=C:\REALMODE\OAKCDROM.SYS /D:OEMCD001`
5. 「ファイル」メニューの「メモ帳の終了」をクリックします。
「変更を保存しますか」というメッセージが表示されます。
6. 「はい」をクリックします。
7. 再度メモ帳を起動し、「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、「ファイル名」に次のように入力し「開く」をクリックします。
`c:\windows\dosstart.bat`
8. 次の行の「REM」を削除します。
`REM MSCDEX.EXE /D:OEMCD001 /l:× (×は機種によって異なります)`
↓
`MSCDEX.EXE /D:OEMCD001 /l:×`
9. 「ファイル」メニューの「メモ帳の終了」をクリックします。
「変更を保存しますか」というメッセージが表示されます。
10. 「はい」をクリックします。
11. 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
「Windows の終了」ウィンドウが表示されます。
12. 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。
Windows98 が再起動され、設定が有効になります。
13. 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
「Windows の終了」ウィンドウが表示されます。
14. 「MS-DOS モードで再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。
MS-DOS モードで CD-ROM が使用可能になります。

B7. ご購入時に内蔵されている CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブの専用ドライバをお使いになる場合

添付の「アプリケーション CD」には、ご購入時に内蔵されている CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブの専用ドライバ (MS-DOS モードで利用可能なドライバ) が用意されています。この専用ドライバをお使いになる場合は、Windows98 を起動した状態にして、次の手順に従ってドライバを組み込んでください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「システム」をクリックし、表示されたウィンドウの「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
3. 「CD-ROM」の左側の「+」をクリックし、「CD-ROM」の下に表示された名称を確認します。
4. 確認ができれば、「OK」をクリックします。
5. 「アプリケーション CD」を CD-ROM ドライブにセットします。
6. 「MS-DOS プロンプト」などを使って、「アプリケーション CD」内の次のファイルを、「C:\REALMODE\F」フォルダにコピーします。手順 3 で確認した名称に従って、それぞれ次のファイルをコピーしてください。
 - 「NEC CD-ROM DRIVE:282」の場合
`E:\Cdnece\NE_ATAPI.SYS`
 - 「TOSHIBA CD-ROM XM-1902B」の場合
`E:\Cdtshiba\TO_ATAPI.SYS`

- 「MATSHITA CD-ROM CR-175」または「MATSHITA CD-ROM CR-589」または「MATSHITA DVD-ROM SR-8584A」の場合
E:¥Cdmsu¥SR_ASPI.SYS
E:¥Cdmsu¥ATAPIMGR.SYS
※上記の 2 つのファイルをコピーします。
- 「TEAC CD-532E-B」または「TEAC CD-224E」の場合
E:¥Cdteac¥TE_ATAPI.SYS

「E:」は、お客様がお使いの CD-ROM ドライブのドライブ名となります。

7. コピーが終わったら、「アプリケーション CD」を CD-ROM ドライブから取り出します。
8. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」の順にマウスポインタを合わせ、「メモ帳」をクリックします。
9. 「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、「ファイル名」に次のように入力します。

c:¥config.sys

10. 「開く」をクリックします。
11. 表示された内容の末尾に次の行を追加します。手順 3. で確認した名称に従って、それぞれ次のように追加してください。

- 「NEC CD-ROM DRIVE:282」の場合
DEVICE=C:¥REALMODE¥NE_ATAPI.SYS /D:MSCD001 /SM PIO=4
- 「TOSHIBA CD-ROM XM-1902B」の場合
DEVICE=C:¥REALMODE¥TO_ATAPI.SYS /D:MSCD001
- 「MATSHITA CD-ROM CR-175」または「MATSHITA CD-ROM CR-589」または「MATSHITA DVD-ROM SR-8584A」の場合
DEVICE=C:¥REALMODE¥ATAPIMGR.SYS /T:0
DEVICE=C:¥REALMODE¥SR_ASPI.SYS /D:MSCD001 /B
※上記の 2 行を追加します。
- 「TEAC CD-532E-B」または「TEAC CD-224E」の場合
DEVICE=C:¥REALMODE¥TE_ATAPI.SYS /D:MSCD001

「B6.MS-DOS モードで CD-ROM をお使いになる場合」の手順 4. に従って「REM」を削除している場合は、その行を元の状態に戻してください。

12. このあとは、「B6.MS-DOS モードで CD-ROM をお使いになる場合」の手順 5. 以降に従って操作を続けます。すべての操作が終わると、MS-DOS モードで専用ドライバが使える状態になります。

B8. 通信などでパソコンから電話をかける場合

- お住まいの地域の局番が変更された場合は、ダイヤルのプロパティの設定を新しい市外局番に合わせて変更してください。
例:「0423-70-XXXX」から「042-370-XXXX」に変更された場合
変更方法は次のとおりです。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「テレフォニー」をクリックします。
 3. 「市外局番」に設定している番号を変更し、「OK」をクリックします。
- お住まいの市外局番と同じ市外局番の別地域に電話するときは、市外局番がダイヤルされないため電話がつながりません。この場合は、一時的にダイヤルのプロパティの市外局番の設定を、別の市外局番に設定してからお使いください。設定方法は次のとおりです。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「テレフォニー」をクリックします。
 3. 「市外局番」に設定している番号を変更し、「OK」をクリックします。

例: 042→044 など
現在お使いの市外局番とは違う市外局番にしてください。

使用後は、必ず元の市外局番に戻してください。

B9. デスクトップの壁紙について

- アクティブデスクトップでは、画像データをデスクトップの壁紙にする機能（「らくらく写真館」など）が、正しくお使いになれない場合があります。この場合は、「画面のプロパティ」の「Web」タブの「Active Desktop を Web ページとして表示」のチェックマークを外してください。
- 拡張子が「htm」のファイルを壁紙にしたとき、ファイルによっては正しく表示や操作ができない場合があります（フレーム表示を設定した.htm ファイルを壁紙に設定した場合など）。

B10.タイトルバーのグラデーションについて

画面の設定後、再起動を行わないと、タイトルバーのグラデーション表示が単色になる場合があります。

この場合は、「画面のプロパティ」の「デザイン」タブにある「アクティブタイトルバー」の色の設定を、いったん他の色に設定し、そのあと元の色に設定し直してください。

B11.タスクバーに「msime98mode」というボタンが表示される場合

まれに、「msime98mode」という名称のボタンがタスクバーに表示される場合があります。動作には問題ありませんのでそのままお使いください。なお、Windows98 を再起動すると、このボタンは消えます。

B12.日本語入力システムについて

「MS-DOS プロンプト」を起動して日本語入力システムをオンにしたあと、「Alt」キーを押しながら「Tab」キーを押してアクティブウィンドウを切り替えたときに、「MS-DOS プロンプト」で日本語が入力できなくなる場合があります。

この場合は、「MS-DOS プロンプト」を起動し直してください。

B13.コントロールパネルについて

「コントロールパネル」ウィンドウでアイコンを選択したときに、ウィンドウの左側(選択したアイコンの情報が表示される部分)が正しく表示されない場合があります。この場合は、次の手順でウィンドウを再表示すると正しく表示されます。

1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、元の大きさに戻り、再表示されます。

B14.「コントロールパネル」の「マルチメディア」について

「マルチメディアのプロパティ」ウィンドウ(「コントロールパネル」の「マルチメディア」をクリックすると表示されます)の「MIDI」タブにある、「単一の機器」の設定によっては、正しく音が再生されない場合があります。この場合は、「単一の機器」の設定を変更してください。

B15.「コントロールパネル」の「日付と時刻」について

「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウ(「コントロールパネル」の「日付と時刻」をクリックすると表示されます)で日付や時刻を変更したあと、「適用」をクリックして設定した場合は、「OK」をクリックして「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウを閉じてください。「キャンセル」または「閉じる」ボタンで閉じると、変更した結果が正しく設定されない場合があります。

B16.デフラグやスキャンディスクの実行について

- Windows98 のスキャンディスクを実行中に、次のような警告メッセージが表示されることがあります。

「Windows または他のアプリケーションがこのドライブに書き込みを行っているため、再試行回数が 10 回に達しました。実行中の他のアプリケーションを終了すると、チェックが早く行われます。今後この警告メッセージを表示しますか？」

この警告メッセージはアプリケーションや、Windows98 のメモリスワップ機能が、ディスクに書き込みを行っているために表示されるもので、本パソコンの異常を表わすものではありません。

「いいえ」をクリックして今後このメッセージを表示しないようにするか、または「はい」をクリックしてそのまま処理を続けてください。

- デフラグやスキャンディスクを実行中に、処理が止まるなど正しく動作しない場合は、起動しているアプリケーション(VirusScan などの常駐アプリケーションも含め)をすべて終了させてから、改めてデフラグやスキャンディスクを実行してみてください。

B17.「コントロールパネル」の「システムのプロパティ」について

「コントロールパネル」の「システムのプロパティ」で表示されるメモリ容量は、実装されているメモリ容量より、少なく表示される場合があります。これはメモリの一部をハードウェアが使用しているためであり、誤表示ではありません。実装されているメモリ容量の正しい値は、BIOS セットアップで確認することができます。BIOS セットアップについては、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』をご覧ください。

B18.「アクセサリ」の「サウンドレコーダー」について

「アクセサリ」の「サウンドレコーダー」を起動したとき、「サウンドレコーダー」の設定が他のアプリケーションに変更されています。」というメッセージが表示される場合があります。この場合は、「はい」をクリックしてサウンドレコーダーを続けてください。本メッセージが表示されても、サウンドレコーダーの使用上は何も問題はありません。

B19.「アクセサリ」の「Windows Media Player」について

「アクセサリ」の「Windows Media Player」で、8bit モノラルの WAVE ファイルを再生するとき、再生開始時に「ブツ」と音がする場合がありますが、故障ではありません。

B20.「アクセサリ」の「ペイント」について

ペイントにビットマップを貼り付け、保存せずに終了すると、保存を確認するメッセージが表示されます。そのとき「はい」をクリックして保存すると、データの色数が 256 色のときにはビットマップの色が正常に保存されない場合があります。ペイントを終了するときは、「ファイル」メニューの「上書き保存」または「名前を付けて保存」をクリックし、ビットマップを保存してから終了してください。

B21.「アクセサリ」の「拡大鏡」について

「アクセサリ」の「ユーザー補助」の「拡大鏡」は、次の操作を行うときは終了してください。

- 起動時に画面の解像度が変わるアプリケーションをお使いになるとき
- Windows98 を終了するとき

拡大鏡を起動したまま上記の操作を行うと、拡大鏡や壁紙が正しく表示されなくなる場合があります。拡大鏡が正しく表示されないときは、拡大鏡を再起動してください。壁紙が正しく表示されないときは、Windows98 を再起動してください。

B22.「アクセサリ」の「システム情報」について

「アクセサリ」の「システムツール」の「システム情報」で、「ファイル」メニューの「エクスポート」を行うと、作成されたファイルの「ドライブの空き領域」の内容が、システム情報で表示される内容と異なります。表示されている内容が正しい情報ですので、そちらを参照してください。

B23.「アクセサリ」の「システム情報」の「システムファイルチェッカー」について

「アクセサリ」の「システム情報」の「ツール」メニューにある「システムファイルチェッカー」で、「変更のあったファイルをスキャンする」を選択して実行すると、USER.EXE が壊れている可能性のある旨のメッセージが表示される場合があります。このメッセージは、ご購入直後、または、パソコンをふりだしにもどした直後の状態でも表示されますが、この場合はファイル自体に問題はありません。

このメッセージが表示された場合は、次のように操作を進めてください。

1. 「ファイルを復元する」を選択し、「OK」をクリックします。
「ファイルの復元」ウィンドウが表示されます。
2. 「復元元」の欄に次のように入力します。
`C:\%WINDOWS%\OPTIONS\CABS`
3. 「ファイルの保存先」の欄に「C:\%WINDOWS%\SYSTEM」と表示されていることを確認し、「OK」をクリックします。
「バックアップファイル」ウィンドウが表示されます。
4. バックアップファイルを作成する場合は、ファイルの保存先を指定して、「OK」をクリックします。
バックアップファイルを作成しない場合は、「スキップ」をクリックします。
※バックアップファイルを作成する場合に、指定したフォルダが存在しないときは、その旨のメッセージが表示されます。
「はい」をクリックすると、新たにフォルダが作成され、処理が先へ進みます。
「いいえ」をクリックすると、「バックアップファイル」ウィンドウに戻ります。
5. スキャンが終了した旨のメッセージで「OK」をクリックします。
6. 再起動するかどうかを確認するメッセージで「はい」をクリックします。
Windows98 が再起動されます。

B24.「アクセサリ」の「ディスククリーンアップ」について

「アクセサリ」の「システムツール」にある「ディスククリーンアップ」を使用したときに、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、次の手順に従って、ディスククリーンアップで使用する日本語入力システムを MS-IME98 または MS-IME2000 以外に切り替えてください。

1. ディスククリーンアップを起動します。
2. ドライブを選択し、「OK」をクリックします。

3. タスクトレイの MS-IME のアイコン(筆のアイコン)をクリックし、表示されたメニューから「Microsoft IME98 日本語入力システム」または「Microsoft IME 2000(Japanese)」以外を選択します。

これ以降は、普段と同じようにディスククリーンアップを使用してください。

なお、MS-IME98 または MS-IME2000 以外の日本語入力システムがインストールされていない場合 (MS-IME のアイコンがタスクトレイに表示されていない場合) は、次の手順でインストールしてください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「キーボード」をクリックし、表示されたウィンドウの「言語」タブをクリックします。
3. 「追加」をクリックし、表示されたウィンドウの「言語」の一覧から「英語(U.S.)」を選択し、「OK」をクリックします。
※「英語(U.S.)」以外を選択しても構いません。
4. 「キーボードのプロパティ」で「OK」をクリックします。

これ以降は、前述の手順に従って、ディスククリーンアップを使用してください。

B25.データファイルから直接アプリケーションを起動するときの注意

データファイルをクリックすると、関連付けされたアプリケーションが起動します。

ただし、関連付けが正しく設定されていない場合にはアプリケーションは起動せず、「ファイルを開くアプリケーションの選択」ウィンドウが表示されます。この場合は、次のいずれかの操作を行ってください。

- 「ファイルを開くアプリケーションの選択」ウィンドウから、起動するアプリケーションを選択する。
※このとき、「このファイルを開くときは、いつもこのアプリケーションを使う」のチェックマークをつけると、次回からは指定したアプリケーションが起動します。
- アプリケーションを起動したあと、ファイルを開く操作でデータファイルを指定する。

B26.アプリケーションのヘルプについて

アプリケーションのヘルプをお使いのときに、選択した項目の説明が表示されず、次のようになる場合があります。

- 「このトピックは存在しません。」「○○○○.hlp ファイルが見つかりません。」といったメッセージが表示される
- 何も説明が表示されない(反応がない)
- 意味不明の説明が表示される
など

このような場合でも、アプリケーションの動作には問題ありませんので、そのままお使いいただいてもかまいません。また、このような場合の詳しい対応については、各アプリケーションの開発メーカーにお問い合わせください(お問い合わせ先については、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の巻末をご覧ください)。

なお、あらかじめインストールされているアプリケーションのうち次のアプリケーションで、上記のようになることが確認されています。

- らくらく写真館の StringPro (ME/355,NE/33,MF/33 除く)
- 筆まめ(プリシェのみ)
- ノーツ(一太郎,OASYS モデルのみ)
- Outlook98 (Word98 モデルのみ)

B27.アプリケーションのインストールおよびアンインストールについて

アプリケーションをインストールおよびアンインストールする際の注意は、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「アプリケーションのインストール/削除」にも記載されています。合わせてご覧ください。

- ノーツのアンインストール時に、「インストールされたバージョンと一致しません」と表示される場合がありますが、「削除」を選択することで、アンインストールを続けることができます。
- AOL をアンインストールしたあと、再度インストールすると、「バージョンの競合」ウィンドウが表示される場合があります。この場合は、「はい」をクリックしてください。
- 筆ぐるめをアンインストールしたあと、再度インストールするときに、「バージョンの競合」ウィンドウが表示される場合があります。この場合は、「いいえ」をクリックしてください。

B28.印刷プレビューについて

アプリケーションに印刷プレビュー機能が用意されている場合、その機能での表示が、実際の印刷結果と多少異なる場合があります。この場合でも、印刷は正しく行われますのでご了承ください。

B29.Microsoft Exchange および Microsoft Fax について

Windows95 で用意されていた Microsoft Exchange および Microsoft Fax は、Windows98 には用意されていません。あらかじめご了承ください。

B30.Outlook Express について

- Outlook Express を初めて起動したときに、Outlook Express は通常使用するメールクライアントとして選択されていない旨のメッセージが表示される場合があります。この場合は、「はい」をクリックしてください。
なお、Office 2000 Personal モデルをお使いの方は、前述のメッセージで「はい」をクリックしたあと、さらに「Microsoft Outlook を起動して、デフォルトのメールクライアントに指定してください。」というメッセージが表示される場合があります。この場合は、「OK」をクリックしてください。また、メールソフトとして Outlook Express を通常お使いになる場合は、このあと次の設定を確認してください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「インターネットオプション」をクリックし、「プログラム」タブをクリックします。
 3. 「電子メール」の欄が「Outlook Express」になっているか確認します。
「Outlook Express」以外に設定されている場合は、「Outlook Express」に変更します。
 4. 「OK」をクリックし、「コントロールパネル」ウィンドウを閉じます。
- Outlook Express のプレビューウィンドウで、全角文字を含んだファイル名のファイルが添付されたメッセージを表示すると、意味不明の文字が表示される（文字化けする）場合があります。この場合は、文字化けするメッセージをダブルクリックし、メッセージ用のウィンドウに内容を表示すると、正しく表示されます。

B31.Outlook98 について

(Office 2000 Personal モデル、Word98 モデルのみ)

- 「挿入」メニューの「オブジェクト」を使って、動画ファイルや音声/音楽関連ファイルを貼り付けた場合に、貼り付けたファイルを再生や編集できない場合があります。あらかじめご了承ください。
- Outlook98 をお使いの方へ
Outlook98 をインストールし直したあと、「Outlook98 のインストール」の「コンポーネントの追加」から「Symantec WinFax Starter Edition」をインストールしたときは、引き続き次のように操作してください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「検索」にマウスポインタを合わせ、「ファイルやフォルダ」をクリックします。
 2. 「olfsetup.exe」を検索します。
検索方法については、添付マニュアル『かるがるパソコン入門』をご覧ください。
 3. 検索された「olfsetup.exe」をクリックします。
セットアップウィザードが起動します。
 4. ウィザードの手順に従って、セットアップします。
 5. 手順 1.、2. と同じようにして、「olfmod32.exe」を検索し、「olfmod32.exe」をクリックします。
 6. 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
 7. 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。
本パソコンが再起動されます。これで設定は終了です。

B32.一太郎 9・花子 9 パックについて

(一太郎モデルのみ)

- Word98 の形式の文書を一太郎 9 で開く場合、作成した Word98 のバージョンによっては文書を開けない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 「デジビュー」について
 - 画像一覧で画像を選択し右クリックしたときに表示されるメニュー、および、メニューバーの「画像」メニューの「花子フォトレタッチに貼り付け」機能はお使いになれません。あらかじめご了承ください。
 - 画像一覧から画像を開く場合、「ツール」メニューの「オプション」の「関連付け」タブで「常に花子フォトレタッチで開く」に設定しても、それぞれの画像に関連付けされたアプリケーション（たとえば BMP ファイルを選択した場合はペイント）が常に起動します。また、花子部品など、画像一覧から開けない（メニューに「開く」機能が表示されない）画像もあります。あらかじめご了承ください。

B33.ATOK について

(一太郎モデルのみ)

マルチユーザ（複数のユーザで利用できる環境）の設定でお使いの場合は、「JUSTSYSTEM アプリケーション」の「アプリケーション追加・削除」では ATOK をアンインストールできません。この場合は、次の手順でアンインストールしてください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「キーボード」をクリックし、表示されたウィンドウの「言語」タブをクリックします。
3. 「ATOK」を選択し、「削除」をクリックします。
※マルチユーザに設定されている対象者全員が、ここまでの作業を行う必要があります。
4. ATOK をフォルダごと削除します。
これで操作は終了です。

B34.Lotus 1-2-3 2000 について

(一太郎,OASYS モデルのみ)

「ファイル」メニューの「インターネット」の「Web からデータの読み込み」でデータを読み込んだ場合に、データによっては日本語が正しく表示されない場合があります。

B35.Net-It Now! Starter Edition について

(一太郎,OASYS モデルのみ)

「プログラム」メニューにある「Net-It Now! Starter Edition」は、Lotus 1-2-3 2000 またはその他のスーパーオフィス 2000 製品から利用するアプリケーションです。「Net-It Now! Starter Edition」について詳しくは、ロータス CD-ROM マニュアルセットとともに添付されている説明書をご覧ください。

B36.ノーツ パーソナルについて

(一太郎,OASYS モデルのみ)

次に示す「○○」のアドレス帳は、ノーツパーソナルを最初に起動した際に設定した名前です。

- 「インターネット接続情報」や「リモート LAN 接続サーバー情報」(インターネット接続アカウント、メールアドレス、メールアカウント、パスワード等)を修正したい場合は、次の手順で行ってください。特にここでの設定に誤りがあると、インターネットの接続やメールの送受信が正常に動作しませんので、ご注意ください。

1. 「インターネット接続」を開きます。
2. 画面左側の「ステータス」をクリックします。
3. 画面右側に表示された該当する文書を開きます。
4. 「文書の編集」ボタンをクリックし、修正します。
5. 「アドレス帳に反映」ボタンをクリックします。
6. 「ファイル」メニューの「閉じる」をクリックします。
7. 「ファイル」メニューの「ノーツ/ドミノの終了」をクリックし、ノーツパーソナルを終了し、再起動してください。

- メールを送信しようとすると、「NoAddress Associated with Name」または「SMTP Protocol Returned Error」というエラーが表示される場合があります。この場合は、次の手順でインターネット接続情報と同じ名前のロケーションに設定されているか確認してください。

1. ステータスバーの右端から 2 番目のボタンをクリックします。
2. 「インターネット接続」データベースで作成した「インターネット接続情報」と同じ名前のロケーションをクリックします。

それでもうまくいかないときは、次の手順で「ロケーションタイプ」が「接続なし」以外に設定されていないか確認してください。

1. ステータスバーの右端から 2 番目のボタンをクリックし、「ロケーションの編集...」をクリックします。
2. 「ロケーションタイプ」を「接続なし」に変更します。
3. 「保存・終了」をクリックします。

- 定期的にダイヤルアップしてメールの送受信をする場合は、設定が必要です。設定の手順は次のとおりです。ただし、この機能を利用するにはノーツ パーソナルを起動させておく必要があります。

1. ステータスバーの右端から 2 番目のボタンをクリックし、「ロケーションの編集...」をクリックします。
2. 「複製情報」の「スケジュール」の設定を「使用可」に変更します。
3. 「呼び出し時間:」「再呼び出し間隔:」「曜日:」の設定を行います。

例 1 2 時間間隔でメールの送受信を行いたい → 再呼び出し間隔を「120」に設定

例 2 9 時、12 時、17 時にメールの送受信を行いたい → 呼び出し時間を「9:00, 12:00, 17:00」に設定

4. 「保存・終了」をクリックします。
- インターネットに接続する際、「リモートサーバーのコール」ウィンドウで「オプション」をクリックすると、接続に必要なパスワードが表示されます。このパスワードは、インターネットに接続する際に必要となる大事なパスワードです。「リモートサーバーのコール」ウィンドウで「オプション」をクリックする際には、周囲に十分注意してください。「リモートサーバーのコール」ウィンドウでパスワードを見せない設定はありませんので、パスワードを削除してご利用ください。パスワードを削除する手順は次のとおりです。ただし、ノーツパーソナルからメール送信などで接続するときは、毎回パスワードの入力が必要になります。

1. 「○○のアドレス帳」を開きます。
2. 画面左側の「詳細」の「接続」ビューをクリックします。
3. 該当する接続文書を選択し、「接続編集」をクリックします。
4. 「リモート LAN サービス設定編集」の左側の「▼」をクリックします。
5. パスワードを削除し、「OK」をクリックします。
6. 「保存・終了」をクリックします。

- 使用するブラウザの設定を「ノート」にして「個人 Web ナビゲーター」を利用すると、きちんと表示できないホームページがあります。ノート パーソナルオリジナルのブラウザで正常に表示できないページをご覧いただくには、使用するブラウザを「ノート上で Microsoft Internet Explorer」に設定してください。設定の手順は次のとおりです。

1. ステータスバーの右端から 2 番目のボタンをクリックし、「ロケーションの編集...」をクリックします。
2. 「インターネットブラウザ」の設定を「ノート上で Microsoft Internet Explorer」に変更します。
3. 「保存・終了」をクリックします。

- ノート パーソナルから使用するブラウザを「Microsoft Internet Explorer」に設定している場合、まだ Internet Explorer 自身の設定が完了していない状態でノート パーソナルからブラウジング動作をすると、エラーが発生し、ノート パーソナルが終了します。Internet Explorer の設定を完了させてからお使いください。
- 新規スケジュール作成時に「繰り返し」機能を使用する場合は、同じスケジュールを設定する「開始日」、「終了日」または「期間」を必ず設定してください。
- データベースアイコンのサイズは変更できません。
- 本パソコンの内蔵モデムを使用して、ノート パーソナルをモデム経由で使用する場合は、モデムポートを「COM2」に設定してください。本パソコンの内蔵モデムのモデムポートは「COM2」に設定されています。
- メールの送受信を行うために必要となる設定の途中、または送受信の際に、「インターネットエクスプローラ 3.0 以上が利用可能になっていません。」というエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、次の手順に従って設定を変更すると、このエラーメッセージは表示されなくなります。

1. 「ファイル」メニューの「モバイル」から「現在のロケーションの編集」をクリックします。
2. 「ロケーション: 任意の名前」画面の「インターネットブラウザ情報」で、次のいずれかに設定します。
 - 「インターネットブラウザ」を「ノート」に設定
 - 「インターネットブラウザ」を「その他」に、「インターネットブラウザパス」を「C:\Program Files\Internet Explorer\iexplore.exe」にそれぞれ設定
3. 画面左上にある「保存・終了」をクリックします。
これで設定は終了です。

B37.「Word2000&Excel2000 の虎の巻」、「Word98&Excel97 の虎の巻」、「一太郎 9&Lotus1-2-3 2000 の虎の巻」について

デモ画面を再生中に、マウスをクリックすると再生が中止される場合があります。この場合は、もう一度マウスをクリックすると再開されます。

B38.OASYS について

(OASYS モデルのみ)

- OASYS Image をお使いのときに、編集したイメージを、元の形式とは違う形式で保存すると、ファイル名の拡張子が元の形式のまま保存される場合があります。この場合は、Windows98 の設定を次のように変更すると、正しく保存できます。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「フォルダオプション」をクリックします。
 2. 「表示」タブをクリックし、「登録されているファイルの拡張子は表示しない」にチェックマークがついていないことを確認します。チェックマークがついている場合は、クリックしてチェックマークを外します。
 3. 「OK」をクリックします。
これで設定は終了です。
- 長い名前のフォルダ (My Documents フォルダなど) に保存した、拡張子が「pcd」などのファイルを OASYS Image で開こうとすると、ファイルが正しくない旨のエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、ファイルの保存先を変更してから開いてください。
- HTML 文書として保存する機能は、「挿入」メニューの「オブジェクト作成」で貼り付けた画像ファイルをサポートしておりません。詳しくは、次のファイルをご覧ください。

C:\Program Files\OASYS\SV6\PBIN\OASYSIA.TXT

B39.OASYS に付属の CD View について

(OASYS モデルのみ)

OASYS に付属の CD View では、「スーパー統合辞書 99」の「広辞苑第五版」を正しく再生することができません。この辞書をお使いになる場合は、「スーパー統合辞書 99」に付属の CD View をお使いください。

B40.ニフティマネジャーについて

- ニフティマネジャーのサポートは、ニフティサーブのニフティマネジャーサポートコーナーで行われており、ここから最新版をダウンロードすることもできます。ニフティマネジャーサポートコーナーに入るには「サービス」メニューの「NIFTY MANAGER サポートコーナー」をクリックします。

- 接続を終了するときに、最新版のファイル入手するかどうかを確認するメッセージが表示されることがあります。このときに、最新版のファイル入手する場合は、「入手する」をクリックしてください。なお、最新版のファイル入手せずにお使いいただいても、通常のご利用では支障ありません。

B41.ニフティサーブの利用料金について

1999年6月1日以降、ニフティサーブの料金体系が改定されます。6月1日以降にニフティサーブに入会されますと、改定後の料金が適用されます。改定後の料金などについての詳細は、次のアドレスのホームページをご覧ください。

<http://www.nifty.ne.jp/release/19990413.htm>

B42.FAX 留守番電話について

- FAXの受信がうまくいかない場合は、次の手順で設定を変更してください。
 1. 「留守番電話」の「機能」をクリックし、「設定」をクリックします。
 2. 表示されたウィンドウの「留守番設定」タブをクリックします。
 3. 「着信モード」が「FAXのみ」に設定されているか確認します。「FAXのみ」以外に設定されている場合は、「FAXのみ」に設定します。
 4. 「着信までの呼び出し回数」を「4回」以下に設定し、「OK」をクリックします。
これで設定は終了です。
- 本モデムでFAX留守番電話を使ってFAX受信を行う場合、相手のFAX装置によっては正常に受信できない場合があります。そのような場合は、次の方法で対処願います。
 - 短い応答メッセージを作る(10秒以下)
- 通話再生の音量を調節する場合は、ボリュームコントロールの再生側のWaveボリュームを操作することにより、音量の調整が可能になります。
- FAX留守番電話の応答メッセージに使用する音声ファイルは8KHz、16ビット、モノラルに対応したファイルをお使いください。
- FAX留守番電話の「電話/FAX」のモードで留守番待機中にFAX受信すると、録音メッセージにFAXの発信音が録音されることがあります。
- 「通話再生」「通話録音」機能について
 - C/50L,C/45L,C/457,S/457,プリシェの場合
 - 受話器で通話しているときにのみお使いになれます。
 - 通話の音量レベルが下がります。
 - 通話再生中は、通常対話が聞こえにくくなります。
 - 上記以外の機種の場合
 - 「通話再生」、「通話録音」機能はお使いになれません。
- 留守状態になっているときに省電力機能が働いた場合は、省電力機能から復帰したあと、留守番電話をいったん終わらせ、起動し直してください。そのままお使いになると、電話がかかってきても留守番電話が反応しない場合があります。

B43.FM手帳について

- 「便利な機能」の「使用する項目名の変更」の「ダイアログの設定」で、「プレビュー」をクリックしたときに表示されるウィンドウの一部が画面からはみ出し、「OK」や「閉じる」をクリックできない場合があります。この場合は、次のように操作してください。
 - 「OK」をクリックするかわりに、「Enter」キーを押す
 - 「閉じる」をクリックするかわりに、ウィンドウ右上の「×」ボタンをクリックする
- FM手帳をお使いのときに、次のようなメッセージが表示される場合があります。
「[[住所録データの新規作成/編集]ダイアログボックスが開けません。他のアプリケーションを終了させてください。」
この場合は、起動しているアプリケーションをすべて終了し、パソコンの電源を一度切ってください。そのあと、パソコンを再度起動し、操作し直してください。
- ティッカー(FM手帳の「表示」メニューの「ティッカー表示」で表示されます)の右端のボタンをクリックし、「ティッカーの属性」ウィンドウで次のような操作をすると、「ティッカーの属性」ウィンドウが、FM手帳のウィンドウなど表示中のウィンドウのうしろに隠れて見えなくなる場合があります。
 - 「ティッカーの属性」ウィンドウの「フォント」タブをクリックする
 - 「ティッカーの属性」ウィンドウの「フォント」タブからフォントを選択する
 この場合は、表示中のウィンドウを移動または最小化してください。

B44.FM手帳とZAURUSの連携について

FM手帳とZAURUSを、赤外線機能を使用して連携する場合は、IRコマンド(別売品)が必要です。

B45.FM 便利ツールについて

- CD-ROM を使ったアプリケーションの使用中、キーボード上の Stop/Eject(停止/取り出し)ボタンは押さないでください。Stop/Eject ボタンを押すとCD-ROM が取り出されます。これによりアプリケーションが誤動作したり、システムが停止する場合があります。
- 音楽CD がセットされていても、CD プレーヤーが音楽CD を認識しない場合があります。この場合は、音楽CD をセットし直してください。
- 「ユーザ変更」にてユーザを変更しようとする場合、パスワードの入力を求められます。パスワードを忘れてしまった場合や、パスワードを設定していない場合には、SUPERWORD の9文字の英字を、パスワードとして入力してください。ユーザを変更することができます。
- 「おろこうフロッピー」で、「フロッピーディスクが入っていると、Windowsの終了を中止します」に設定している場合(ご購入時はこのように設定されています)、フロッピーディスクをセットしたまま、「Windowsの終了」から「MS-DOS モードで再起動する」を選択すると、「MS-DOS プロンプト」ウィンドウが表示されますが、動作には問題ありません。「MS-DOS プロンプト」ウィンドウの「OK」をクリックすると、ウィンドウが閉じます。そのあと、「おろこうフロッピー」ウィンドウのメッセージに従って操作してください。

B46.本パソコンの内蔵モデムについて

- 本パソコンの内蔵モデムは、接続する電話回線がNTTの一般公衆電話回線の電氣的な仕様と同じでないと正常に動作しません。
- ダイアラでダイヤルして受話器で相手の音声を聞く際には、「回線を切る」と表示されているウィンドウの「OK」をクリックしてください。
- デジタル電話機のアナログポートに接続しての K56flex および V.90 での通信はできません(最高速度 33600bps)。この場合は、33600bps か、またはそれ以下の通信速度に設定変更してください。

B47.別売モデムをお使いになる方へ

本パソコンでは、内蔵モデムをお使いになる場合の設定に合わせて、通信アプリケーションがインストールされています。モデムを新たに取付けた場合は、接続形態に合わせて COM ポート番号などを再設定する必要があります。また、お使いのモデムによっては、あらかじめ設定されている状態で、正常に通信できない場合があります。この場合は、お使いのモデムに合わせて、通信アプリケーションの再設定を行ってください。設定方法については、各通信アプリケーションおよびモデムの取扱説明書をご覧ください。

B48.「アクセサリ」の「ハイパーターミナル」について

- データ送受信中に通信に失敗する場合があります。この場合は、次のいずれかの方法でお使いください。
 - 他の通信ソフトウェアを使用する(例 NIFTY Manager)
 - 他の通信速度のアクセスポイントに変更する
 - 他の通信プロトコルを使用する(例 ZMODEM など)
- 次の状況では、ハイパーターミナルが誤動作する場合があります。この場合は、一度パソコンを再起動し、モジュラーケーブルが正しく接続されているか、設定内容が正しいかを確認してください。
 - モジュラーケーブルを接続しないで電話をかける
 - PBX回線にて、トーンを待ってからダイヤルする設定にして電話をかける

B49.WAKE UP 機能について

本パソコンの内蔵モデムで WAKE UP を行う場合、「マイクロソフト 仮想プライベート ネットワーク アダプタ」がインストールされていると WAKE UP 時にモデムが使用できません。この場合は、アダプタを削除してください。

B50.RealPlayer について

本パソコンにインストールされている RealPlayer では、データによっては正しく再生できなかったり、エラーメッセージが表示されたりする場合があります。RealPlayer は、最新版をダウンロードしてお使いになることをお勧めします。

B51.インターネット上での RealAudio ファイル/ShockWave ファイルの再生について

インターネット上で RealAudio ファイルおよび ShockWave ファイルを再生するとき、音が途切れる場合がありますが、故障ではありません。

B52.FM WORLD パソコン便利帳について

デスクトップに表示されている「FMV サービスチャンネル」の「FM WORLD パソコン便利帳」をクリックすると表示される説明に、本パソコンには該当しない説明が一部含まれている場合があります。あらかじめご了承ください。

B53.はじめよう！インターネット(InfoWeb)について

お使いになる前に、「地域のプロパティ」ウィンドウ(「コントロールパネル」の「地域」をクリックすると表示されます)の「地域」タブが、「日本語」になっていることを確認してください(ご購入時は「日本語」に設定されています)。「日本語」以外の場合は、はじめよう！インターネット(InfoWeb)使用時にエラーメッセージが表示される場合があります。

B54.ポケベルコール機能について

10 円メールマスターやポケベルダイヤラのポケベルコール機能をお使いになり、エラーが表示されたり、相手に送信できない場合は、次の原因が考えられます。

- 送信相手が受信エリア外にいる
- 送信相手のポケベルの電源が入っていない

B55.AOL について

- ニフティマネジャーで、インターネット経由でメールを送信するときに、全角文字を含んだファイル名のファイルをメールに添付した場合、そのメールを AOL で受信すると、まれに添付ファイルを正しく受信できない場合があります。
- 「チャット」メニューの「チャットロビーに入る」をクリックすると、「リッチテキストが表示できませんでした。」「メモリ不足のためこのアプリケーションを実行出来ません。」というメッセージが交互に表示され、操作を先に進めることができなくなる場合があります。この場合は、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。AOL を強制終了してください。

B56.CPU 名の表示について

Pentium® III または Intel® Celeron™ の CPU を搭載の機種では、次の個所などで、CPU 名が Pentium® II と表示されます。本パソコンの詳しい仕様については、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「仕様一覧」でご確認ください。

- 「コントロールパネル」の「システムのプロパティ」
- 「アクセサリ」の「システムツール」の「システム情報」

B57.FM Advisor について

- FM Advisor のヘルプで、目次の「FM Advisor の使い方」の「[編集]メニュー」を選択したときに表示される説明内の、「[検索]」に対する説明に誤りがあります。この機能に関しては、前述の説明で「[検索]」をクリックすると表示される「[検索]コマンド」の説明をご覧ください。
- **CPU 情報について**
FM Advisor の「CPU 情報」の表示を行った際に、CPU 名、CPU クロックが正しく表示されない場合があります。本パソコンの詳しい仕様については、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「仕様一覧」でご確認ください。

B58. USB 機器の増設について

複数の USB 機器を増設して同時に使用した場合、USB 機器の動作が不安定になる場合があります。この場合は、使用する機器だけを USB ポートに接続してお使いください。

B59.インターネット(InfoWeb)無料体験について

インターネットへ接続するための設定を済ませたあと、「インターネット(InfoWeb)無料体験」をお使いになると、Internet Explorer を起動したときに、「ダイヤルアップの接続」ウィンドウが表示されず、インターネットへ接続できなくなる場合があります。この場合は、次の手順に従って、インターネットの設定を変更してください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「インターネットオプション」をクリックし、表示されたウィンドウの「接続」タブをクリックします。
3. 「ダイヤルアップの設定」の「通常の接続でダイヤルする」をクリックし、「OK」をクリックします。
これで設定は終了です。

B60.FMV サービスチャンネルについて

FMV サービスチャンネルは、色数が 16 色のときは一部動作しない箇所があります。ご了承ください。

B61.音の出るアプリケーションをお使いになる場合

音の出るアプリケーション(ゲームなど)を複数同時にお使いになると、正しく音が出なくなる場合があります。音の出るアプリケーションは単独でお使いになることをお勧めします。

B62. ユーザ登録や加入手続きをオンラインで行うときの注意

「FMV ソフトウェア登録」などを使って、ユーザ登録や加入手続きを本パソコンからオンラインで行うときは、通信中に処理を中断したり、電話回線を切断したりしないでください。登録に失敗したり、タイミングによっては、中断したはずの手続きが成立してしまったりする場合があります。

B63. 複数のユーザが使用する設定で本パソコンをお使いの場合

一部のアプリケーションは、複数のユーザが使用する設定（「コントロールパネル」の「ユーザー」で複数ユーザの個人用設定を行った場合など）には対応していません。あらかじめご了承ください。

なお、あらかじめインストールされているアプリケーションのうち一部のアプリケーションでは、複数のユーザが使用する設定のとき、次のようになることが確認されています。

- アンインストールしても「スタートアップ」フォルダからショートカットが消えない場合がある
- アンインストール後、再度インストールしても、アプリケーションが正しく起動しない場合がある
- アプリケーションにあらかじめ登録されたデータなどを複数のユーザで共有できない場合がある

B64. ゲームをお使いになる場合

「GAMEPACK2000」、「Pinball Arcade」、「SANRIO TINY PARK4」などのゲームをお使いの最中は、次のことを行わないでください。

- 省電力機能を働かせる
- 画面の解像度、色数を変更する

ゲーム中に上記のことを行くと、エラーメッセージが表示されたり、ゲームが正しく動かなくなったりする場合があります。この場合は、起動中のアプリケーションをすべて終了させてから、Windows98 を再起動してください。また、「スタート」ボタンから Windows98 を再起動できない場合は、「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを押して、Windows98 を強制的に再起動してください。

なお、お使いの機種により添付されているゲームは異なります。詳しくは、添付のマニュアル『FMV 総合案内』の「アプリケーション一覧」をご覧ください。

B65. 文字が正しく表示されない場合

アプリケーションをお使いのときに、意味不明の文字が表示される（文字化けする）場合は、次のファイルを削除すると、正しく表示されることがあります。

`C:\¥Windows¥fonts¥F5dyfksq.ttf`

ファイルの削除方法については、添付マニュアル『かるがるパソコン入門』をご覧ください。

B66. スタートメニューの「お気に入り」について

「スタート」ボタンをクリックし、「お気に入り」、「チャンネル」の順にマウスポインタを合わせると表示されるメニューを選択しても、パソコンが反応しない場合があります。この場合は、Internet Explorer の「お気に入り」メニューから選択してください。

B67. ヘッドホン使用時にノイズが気になる場合

次の手順に従って設定してください。

1. 画面右下のタスクバーにある「スピーカ（音量）」アイコンを右クリックし、「音量コントロールを開く」をクリックします。
2. 音量コントロールのウィンドウの「オプション」メニューの「プロパティ」をクリックします。
3. 「表示するコントロール」のマイクの項目をクリックしてチェックマークをつけ、OKをクリックします。
4. マイクの項目の「ミュート」にチェックマークがついていることを確認します。
5. 音量コントロールのウィンドウの右上にある「閉じる」ボタンをクリックします。

B68. ディスプレイ・画面表示に異常がある場合

ディスプレイや画面表示に異常がある場合は、次のことを確認してください。なお、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q 画面が乱れる」も合わせてご覧ください。確認後も異常が見られる場合は、FM インフォメーションサービスまたはパーソナルエコーセンターへ連絡してください。

● 画面のちらつき／画面表示位置異常の場合

「画面のプロパティ」の「設定」タブにある「詳細」の「モニタ」タブにおいて、パソコン本体に接続しているディスプレイ名が表示されていることを確認してください。「不明なモニタ」と表示されている場合は、ディスプレイコネクタおよびパソコン本体にディスプレイケーブルがきちんと接続されていることを確認し、本パソコンを再起動してください。自動的にディスプレイが認識され、最適な設定が適用されます。

- **画面ノイズ／画面同期乱れ／部分的な色異常の場合**

- 近くにスピーカーやテレビ等の強い磁気を発生する機器が無いかどうか確認してください。磁気の影響を受けて画面表示が乱れる場合があります。磁気の影響が無くなるまで距離を離して設置してください。
- 近くで携帯電話やトランシーバ等電波を発生する機器をお使いになると、画面表示が乱れる場合があります。本パソコンの近くで、これらの電波を発生する機器はお使いにならないでください。
- 近くに AC アダプタが無いかどうか確認してください。AC アダプタの発する電気のノイズにより画面表示が乱れる場合があります。画面異常が無くなるまで距離を離して AC アダプタを設置してください。

B69.省電力機能について

- 省電力機能が働いている状態で、電源を切ったり異常終了したりすると、次のメッセージが表示される場合があります。

「コンピュータは、何度か待機状態になり、応答を停止しました。

今後、待機状態にならないようにしますか？

＜はい＞ ＜いいえ＞ 」

このメッセージが表示された場合は、必ず「いいえ」をクリックしてください。

「はい」をクリックすると、以降省電力機能をお使いになれません。

なお、上記のメッセージで「はい」をクリックしてしまった場合は、次の手順で再設定すると、省電力機能を再びお使いになることができます。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「システム」をクリックし、「デバイス マネージャ」タブをクリックし、「接続別に表示」をクリックします。
3. 「アドバンスド パワー マネジメント サポート」をクリックし、「削除」をクリックします。
4. 「デバイス削除の確認」のメッセージで「OK」をクリックします。
5. 「今すぐ再起動しますか？」のメッセージで「いいえ」をクリックします。
6. 「システムのプロパティ」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。
7. 「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」をクリックします。
8. 「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウで画面の指示に従って「次へ」をクリックします。
※「インストールするデバイスは一覧にありますか？」のメッセージが表示された場合は、「デバイスは一覧になりました」をクリックし、「次へ」をクリックします。
9. 「新しいハードウェアを自動的に検出しますか？」のメッセージで「はい」をクリックし、画面の指示に従って「次へ」をクリックします。
ハードウェアの自動検出が始まります。
10. ハードウェアの検出が終わったら、「完了」をクリックします。
11. 「今すぐ再起動しますか？」のメッセージで「はい」をクリックします。
本パソコンが再起動されます。これで操作は終了です。

- **電源の管理について**

動作環境によっては、電源制御が設定時間どおりに動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

- **CRT ディスプレイをお使いの方へ**

省電力機能から復帰するとき、一瞬アイコンが大きく表示されてすぐ元に戻る場合がありますが、故障ではありません。また、省電力機能から正常に復帰しない場合は、電源スイッチを押し、いったん省電力機能を働かせてから、再度電源スイッチを押して復帰してください。

- **LAN カードをお使いになる場合**

LAN カードをお使いになる場合は、パワーマネジメントの設定を無効にしてお使いください。

B70.Microsoft NetMeeting について

Microsoft NetMeeting をお使いの直後は、Microsoft NetMeeting 内のマイク感度の設定が最大になっています。入力した音声が入響する場合は、Microsoft NetMeeting 内のマイク感度の設定を下げてください。

B71.USB キーボードをお使いの方へ

「コントロールパネル」の「ユーザー補助」内の「フィルタキー機能」の「設定」にて「ショートカットキーを使う」を有効とし、「右 Shift」キーを 8 秒以上押し続けてもショートカットが効きません。コントロールパネルから「フィルタキー機能」の設定メニューを開くようにしてください。

B72.アプリケーションの「送信」機能をお使いになる場合

アプリケーションのデータをメールで送信する機能(「ファイル」メニューの「送信」、「メールで送信」などの機能)をお使いになるときは、あらかじめ、Outlook Expressなどを起動して、通常使用するメールクライアントとして選択しておいてください。

選択していないときにこの機能をお使いになると、アプリケーションが反応しなくなる場合があります。この場合は、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください、アプリケーションを強制終了してください。

なお、あらかじめインストールされているアプリケーションのうち次のアプリケーションで、前述のようになる場合があることが確認されています。

- Word2000 (Office 2000 Personal モデルのみ)
- Excel 2000 (Office 2000 Personal モデルのみ)
- 「アクセサリ」の「ペイント」
- 「らくらく写真館」の「PhotoEffector」(ME/355,NE/33,MF/33 除く)

B73.FM 便利ツールで Office 2000 Personal をお使いになる場合

(Office 2000 Personal モデルのみ)

- Office 2000 Personal のプログラム(Word2000、Excel2000 など)を「FM-Menu」のアイテムに登録する場合は、以下の手順で行ってください。

1. 「FM-Menu」のメイン画面で、アイテムボタンや空アイテムの上で右クリックします。
2. 表示されるポップアップメニューの中から、「アイテムのプロパティ」を選択します。
「アイテムボタンのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
3. 「アイテムの登録」タブの「プログラムの指定」の「参照」ボタンをクリックします。
「プログラムファイルの参照」ウィンドウが表示されます。
4. Office 2000 Personal のインストールフォルダにあるプログラム(注 1)を選択し、「開く」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。
5. 「OK」ボタンをクリックし、「アイテムボタンのプロパティ」ウィンドウを閉じて、アイテムの登録を終了します。

(注 1)

Office 2000 Personal のプログラム名と、インストールフォルダ(デフォルトでは C:\Program Files\Microsoft Office\Office)にあるファイル名の対応は、以下の通りです。

プログラム名	ファイル名
Microsoft Word	Winword.exe
Microsoft Excel	Excel.exe
Microsoft Outlook	Outlook.exe

- Office 2000 Personal のプログラムを、「かんたんボタン」でボタンに登録する場合は以下の手順で行ってください。
- 1. 「かんたんボタンの設定」ウィンドウで、プログラムを登録したいボタンのタブを開きます。
- 2. 「E-mail」ボタン、あるいは「Internet」ボタンにプログラムを登録指定したい場合は、「ボタンが押されたら、その他のプログラムを起動する」をクリックします。
- 3. 「参照」ボタンをクリックします。
「開く」ウィンドウが表示されます。
- 4. Office 2000 Personal のインストールフォルダにあるプログラム(注 1)を選択し、「開く」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。
- 5. 「OK」ボタンをクリックし、「かんたんボタンの設定」ウィンドウを閉じます。

(注 1)

Office 2000 Personal のプログラム名と、インストールフォルダ(デフォルトでは C:\Program Files\Microsoft Office\Office)にあるファイル名の対応は、以下の通りです。

プログラム名	ファイル名
Microsoft Word	Winword.exe
Microsoft Excel	Excel.exe
Microsoft Outlook	Outlook.exe

- 「あんしんパソコン」で、Office 2000 Personal のプログラムをスタートメニューに表示しないように設定した場合でも、「かんたんボタン」で Office 2000 Personal のプログラムを登録している場合は、キーボード上の E-mail ボタン、かんたんメールボタン、Internet ボタン、Application ボタンを押すことによって、Office 2000 Personal のプログラムが起動されます(起動が制限されません)。
なお、キーボード上のボタンの名称および付いているボタンの種類は、機種によって異なります。
- Office 2000 Personal のプログラムは、「ずーっと画面」で画面が消える動作を禁止することはできません。

B74.タッチおじさんメールについて

タッチおじさんメールをお使いのときに、「ダイヤルアップの接続」ウィンドウで「キャンセル」をクリックすると、メールまたはダイヤルアップネットワークの設定が違う旨のメッセージが表示される場合があります。この場合は、タッチおじさんメールを一度終了し、起動し直してください。

B75.「コントロールパネル」の「ユーザー補助」について

FM 便利ツールが動作している状態では、「コントロールパネル」の「ユーザー補助」の固定キー機能はお使いになれません。固定キー機能をお使いになる場合は、次の手順に従って、FM 便利ツールをスタートアップから外してください。（スタートメニューの「スタートアップ」から削除するだけでは、「固定キー機能」は使えるようになりません。）

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「システムツール」の順にマウスポインタを合わせ、「システム情報」をクリックします。
2. 「ツール」メニューから「システム設定ユーティリティ」をクリックします。
3. 「スタートアップ」タブをクリックし、「LoadBtnHnd」のチェックボックスのチェックを外します。
4. 同様に「FM 便利ツール」のチェックボックスのチェックを外します。
5. 「OK」をクリックします。
6. 「Microsoft システム情報」ウィンドウを閉じます。
7. Windows98 を再起動します。

なお、この操作を行ったあとは、次の点に注意してください。

- FM 便利ツールに関しては、すべての機能が使用できなくなります。「スタート」メニューからFM 便利ツールを手動で起動すると、「ユーザー補助」の固定キー機能が使用できなくなります。その場合は、Windows98 を再起動してください。
- FM 便利ツールをアンインストールする場合は、前述の手順でチェックを外した「LoadBtnHnd」、「FM 便利ツール」（「システム設定ユーティリティ」の「スタートアップ」タブ内の項目）を元の状態（チェックをつけた状態）に戻してから行ってください。

● 機種別情報

b1.画面の解像度や色数の変更について

プリシェのみ

色数を High Color(16 ビット)に設定したときに「画面のプロパティ」の「背景」タブの「模様」をお使いの場合は、「Web」タブの「Active Desktop を Web ページで表示」のチェックマークを外してください。このチェックマークがついていると、「模様」が正しく表示されない場合があります。

BIBLO のみ

「画面のプロパティ」内で、ヘルプウィンドウが表示されない場合があります。あらかじめご了承ください。

b2.ディスプレイの交換について

DESKPOWER のみ

ディスプレイを別のディスプレイに交換する際には、解像度は 640×480 に、リフレッシュレートは「アダプタの標準」または「最適」に設定してから交換してください。それ以外を設定している場合、ディスプレイ交換後のディスプレイの仕様によっては、画面が表示されない場合があります。

b3.CD-ROM 読み込み中の省電力機能について

BIBLO のみ

CD-ROM 読み込み中に省電力機能が働くと、復帰したときエラーメッセージが表示された青い画面になる場合があります。この場合は、「Enter」キーを押してください。元の画面に戻れます。

b4.複数のオーディオソースを録音するとき

Cシリーズ,S/457,プリシェのみ

複数のオーディオソース（マイクやラインインなど）を録音するときは、録音マスターの「ループバック」を選択してください。「ループバック」を選択すると、出力マスターとして出力される音すべてが録音対象になります。この場合、録音するオーディオソースの選択やボリュームレベル、バランスなどは出力マスターのミキサーで操作します。

Mシリーズのみ

複数のオーディオソース(マイクやラインインなど)を録音するときは、レコーディングコントロールの「ステレオアウト」を選択してください。「ステレオアウト」を選択すると、ボリュームコントロールとして出力される音すべてが録音対象になります。この場合、録音するオーディオソースの選択やボリュームレベル、バランスなどはボリュームコントロールのミキサーで操作します。

b5.USB キーボードをお使いの方へ

DESKPOWER のみ

- 「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」を行うと、操作の途中で、インストールするデバイスの一覧に、「！」マークが付いた「PS/2 互換マウスポート」が表示されます。この表示は、お使いになるうえでまったく問題はありません。上記のデバイスは選択せずに操作を続けてください。
- 本パソコンを使用中に USB キーボードコネクタを抜き差ししないでください。USB キーボードコネクタを抜き差すとシステムが応答しなくなる場合があります。システムが応答しなくなった場合は、いったん電源スイッチを 4 秒以上押し続けて電源を切り、再度電源を入れて下さい。

b6.FDDユニットの着脱について

BIBLO のみ

FDDユニットが接続されていない状態で、Aドライブにアクセスすると、しばらく応答がない場合があります。

b7.PMset98 について

BIBLO のみ

PMset98 のインジケータを表示してお使いの場合は、次の点にご注意ください。

- PMset98 の起動中は、「Alt」キーを押しながら「F4」キーを押しても「Windows の終了」ウィンドウが表示されない場合があります。この場合は、タスクバーの何もないところをクリックしたあと、再度操作するか、「スタート」ボタンから「Windows の終了」を選択してください。

b8.音楽をより良い音質でお聴きになりたい方へ

BIBLO のみ

CDの音楽や MIDI サウンドなどを、より良い音質でお聴きになりたい場合には、次の手順で音量コントロールのウィンドウ内の設定を変更してください。

音量コントロールのウィンドウ内のご使用になる項目以外のチェックマークをつけてください。

例) CD から音楽をお聴きになる場合の設定

1. 画面右下のタスクバーにある「スピーカ(音量)」アイコンを右クリックし、「音量コントロールを開く」をクリックします。
2. 音量コントロールのウィンドウの「全ミュート」のチェックマークが外れているのを確認し、チェックマークがついている場合は、チェックマークを外します。
3. 「CD オーディオ」または「CD」以外のチェックマークをつけます。
4. 音量コントロールのウィンドウの右上にある「閉じる」ボタンをクリックします。

なお、お聴きになったあとは、必ず初期選択状態に戻してください。

b9.携帯電話を使って通信する場合

BIBLO のみ

所在地情報を複数登録している環境で、10 円メールのように所在地情報の指定ができないアプリケーションをお使いの場合は、あらかじめ次の手順で設定を行ってください。

1. 「コントロールパネル」の「モデム」をクリックします。
2. 「ダイヤルのプロパティ」をクリックします。
3. 「登録名」で携帯電話用に作った登録名を選択します。
4. 「OK」をクリックします。

なお、MF/33 に携帯電話を接続してお使いの場合は、「b32.MF/33 に携帯電話を接続してお使いの場合」も合わせてご覧ください。

b10.赤外線通信について

プリシェ、BIBLO のみ

- タスクバーにある赤外線アイコンを右クリックして「赤外線通信を使用可能にする」を選択しても、使用可能な状態にはなりません。赤外線通信を使用する場合は、次の手順で行ってください。
 1. タスクバーにある赤外線通信のアイコンをクリックします。
「赤外線モニタ」ウィンドウが表示されます。
 2. 「オプション」タブをクリックし、「赤外線通信を使用可能にする」にチェックマークをつけます。
すでにチェックマークがついている場合は、いったんチェックマークを外して、再度チェックマークをつけてください。
 3. 「OK」をクリックします。
- 省電力機能 (Save To Disk 機能を含む) を働かせると、復帰後、赤外線通信できなくなる場合があります。この場合は、本パソコンを再起動してお使いください。

b11.「コントロールパネル」の「赤外線モニタ」について

BIBLO のみ

「コントロールパネル」の「赤外線モニタ」をクリックしたときに、「赤外線モニタ」ウィンドウが、「コントロールパネル」ウィンドウなど表示中のウィンドウのうしろに隠れて見えなくなる場合があります。この場合は、表示中のウィンドウを移動または最小化してください。

b12.マルチモニタについて

C シリーズ、S/457 のみ

- マルチモニタ機能対応の PCI グラフィックスカードを増設してもマルチモニタ機能が動作しない場合、Primary Display Adapter の設定を変更する必要があります。設定の変更方法については、添付マニュアル「使いこなす本 ハード編」をご覧ください。
- BIOS セットアップの設定でプライマリディスプレイが「PCI」に設定されている場合、マルチモニタ機能はお使いになれません。

ME シリーズのみ

マルチモニタ機能対応の PCI グラフィックスカードを増設してもマルチモニタ機能が動作しない場合、Primary Display Adapter の設定を変更すると動作する場合があります。設定の変更方法は、添付マニュアル「使いこなす本 ハード編」をご覧ください（「BIOS セットアップ」の「Video」の「Primary Display Adapter [Auto/Onboard]」を参照）。また、C ドライブのファイル C:\Oemrom.bin を一度削除した後、再起動しても、マルチモニタ機能が動作する場合もあります。

NE シリーズのみ

- 液晶ディスプレイをセカンダリアダプタに設定した状態で、Windows98 を再起動した場合、液晶ディスプレイがプライマリアダプタに表示されてしまう場合があります。この場合は、「画面のプロパティ」の「設定」タブをクリックし、「2」と表示されたディスプレイのイラストを右クリックし、一度「使用可能」のチェックマークを外して「OK」をクリックしてください。その後、手順に従って再度マルチモニタ機能の設定を行ってください。
- モニタのリフレッシュレートを60Hzより高く設定して表示している場合は、プライマリアダプタとセカンダリアダプタのいずれか、または両方が仮想スクリーン表示となる場合があります。この場合は、「画面のプロパティ」の「設定」タブにある「詳細」をクリックし、「アダプタ」タブにある「リフレッシュレート」を「最適」にしてください。

C/50L,C/45L,C/40L のみ

マルチモニタ使用時に「MS-DOS プロンプト」やMS-DOS のアプリケーションを実行すると、画面が表示されない場合があります。この場合は、「Alt」キーを押しながら「Enter」キーを押すと、画面が表示されます。

b13.PC カードをお使いの方へ

BIBLO のみ

PC カードをパソコンに挿入すると Windows98 が正常に終了できなくなることがあります。PC カードを挿入する前に以下の手順で設定すると、正常に終了できるようになります。

1. キーボードの「Ctrl」キーの位置を確認した後、パソコン本体の電源を入れます。
2. 「FUJITSU」のロゴマークが表示されたら「Ctrl」キーを押し続けます。
3. 「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されたら、カーソルキーを押して「3.Safe mode」を反転表示させ、「Enter」キーを押します。
4. 「デスクトップ」ウィンドウの「OK」をクリックします。
5. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
6. 「システム」をクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

7. 「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をダブルクリックし、「Intel82371AB/EBPCI to USB Universal Host Controller」をダブルクリックします。
8. 「Intel 82371AB/EB PCI to USB Universal Host Controller のプロパティ」ウィンドウの「リソース」タブをクリックします。
9. 「自動設定を使う」のチェックを外し、「I/O の範囲」を選択し「設定の変更」をクリックします。
10. 「I/O 範囲の編集」ウィンドウで、値ボックスの数値が「1600-161F」になるように調整し「OK」をクリックします。
11. 「割り込み要求」を選択し「設定の変更」をクリックします。
12. 「割り込み要求の編集」ウィンドウで値ボックスの数値が「09」になるように調整し、「OK」をクリックします。
13. 「OK」をクリックし、「変更不可の環境設定の作成」ウィンドウで「はい」をクリックします。
14. 「システム設定の変更」ウィンドウで「はい」をクリックし Windows を終了します。
15. 再度パソコンを起動します。
16. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
17. 「システム」をクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
18. 「モデム」をダブルクリックし、「Fujitsu SOFT PDC」をダブルクリックします。
19. 「Fujitsu SOFT PDC のプロパティ」ウィンドウの「リソース」タブをクリックします。
20. 「自動設定を使う」のチェックを外し、「基本設定 0004」を選択します。
21. 「設定の変更」をクリックし、「I/O 範囲の編集」ウィンドウで、値ボックスの数値が「0100-0107」になるように調整し「OK」をクリックします。
22. 「OK」をクリックし、「変更不可の環境設定の作成」ウィンドウで「はい」をクリックします。
23. 「閉じる」をクリックし「システムのプロパティ」を閉じます。

b14.IDE の DMA 転送について

M シリーズ、ME シリーズ、プリシェのみ

「システムのプロパティ」から「デバイスマネージャ」タブを選択して、「CD-ROM」の「DMA」設定を行った場合、本パソコンが正常に動作しない場合があります。「CD-ROM」の「DMA」設定を行わないようにお願いします。

b15.ATI タスクバーアイコンについて

プリシェのみ

ATI タスクバーアイコンを右クリックした際に表示される「ヘルプ」の「ATI TV ディスプレイ」を選択すると、テレビ機能に関する説明が表示されますが、この機能には対応していません。あらかじめご了承ください。

b16.Word98、Excel97 について

(Word98 モデルのみ)

プリシェのみ

未確定文字があるときに、省電力機能を働かせるなどすると、復帰したときに未確定文字が確定する場合があります。確定した文字に問題がある場合は再入力してください。

b17.VSC-88 について

MF/33 のみ

- 「マルチメディアのプロパティ」ウィンドウ（「コントロールパネル」の「マルチメディア」をクリックすると表示されます）の「MIDI」タブの「単一の機器」が「Roland VSC-88」以外に設定されている場合は、VSC-88 の一部の機能をお使いになることができません。VSC-88 をお使いになるときは、前述の設定を「Roland VSC-88」に変更してください。
- 「VSC-88 を使う」に設定した場合（あるいは MIDI 出力を VSC-88 に設定した場合）には、MIDI の音量は WAVE の音量つまりで調整することになります。
- タスクバーの VSC-88 ヘルパー・アイコンから「VSC-88 を使う」に切り替えると、アプリケーションによっては正しく音が再生されない場合があります。この場合は、「VSC-88 を使わない」に切り替えてアプリケーションをお使いください。
- 次のアプリケーションなどから VSC-88 をお使いになる場合は、次のように設定してください。
 - **通信ジューク 4**
通信ジューク 4 のウィンドウ内で右クリックし、表示されたメニューの「MIDI 出力デバイス」から「Roland VSC-88」を選択します。
 - ***.mid ファイルをクリックして再生する場合**
「マルチメディアのプロパティ」ウィンドウ（「コントロールパネル」の「マルチメディア」をクリックすると表示されます）の「MIDI」タブの「単一の機器」から「Roland VSC-88」を選択します。
または、VSC-88 ヘルパー・アイコンをクリックし、表示されたメニューから「VSC-88 を使う」を選択します。

- ***.mid ファイルをクリックして VSC-88 を起動する場合**

「エクスプローラ」の「表示」メニューの「フォルダオプション」をクリックし、表示されたウィンドウの「ファイルタイプ」タブで、*.mid ファイルのアプリケーションを VSC-88 (C:\Program Files\Roland\VSC-88\Vsc88.exe) に設定します。

- ***.mid ファイルのアイコンを VSC-88 のアイコンにする場合**

前述と同じ「ファイルタイプ」タブで、アイコンのファイルを VSC-88 (C:\Program Files\Roland\VSC-88\Vsc88.exe) に設定します。

なお、VSC-88 をお使いになった場合に、いくつかの問題が発生する場合があります。詳しくは、VSC-88 のヘルプの「トラブルシューティング Q&A」をご覧ください。

- タスクバーの VSC-88 ヘルパー・アイコンから「VSC-88 を使わない」を選択した場合、「マルチメディアのプロパティ」ウィンドウ（「コントロールパネル」の「マルチメディア」をクリックすると表示されます）の設定が次のように変更されることがあります。この場合は、設定し直してください。
 - 「マルチメディアのプロパティ」ウィンドウの「オーディオ」タブの「再生」の「優先するデバイス」が「VSC-88」に設定される場合があります（ご購入時には「NeoMagic Audio (WDM) (1)」に設定されています）。
- タスクバーの VSC-88 ヘルパー・アイコンをクリックすると表示されるメニューで、現在選択されている項目を示す●が消える場合があります。この場合は、選択し直してください。

b18. 筆まめについて

プリシュのみ

- 筆まめをお使いのときに、「CD-ROM ディスク 2 を入れてください。」というメッセージが表示される場合がありますが、本パソコンには「CD-ROM ディスク 2」は添付されていません。このメッセージが表示された場合は、「キャンセル」をクリックしてください。
- 「イメージファイルブラウザ」で新規にカテゴリを作る場合は、カテゴリ名に「/」（スラッシュ）を含めないでください。カテゴリ名に「/」を含めると、「イメージファイルブラウザ」を終了するときにエラーメッセージが表示され、そのカテゴリは保存されません。
- フォントを設定するウィンドウのフォントの一覧に、インストールされているフォントの一部が表示されない場合があります。この場合は、「コントロールパネル」の「フォント」アイコンをクリックし、「フォント」ウィンドウを表示したあと、再度フォントを設定するウィンドウを表示し直してください（このあと、「フォント」ウィンドウは閉じてかまいません）。
- **Office 2000 Personal モデル除く**

住所録ファイルの編集時に、ツールバーまたは「設定」メニューの「フォント」機能を利用したとき、「フォントの設定」ウィンドウの内容が正しく表示されない場合があります。この場合は、次の手順に従って、添付の「アプリケーション CD」から筆まめのアップデートを行うと、正しく表示されるようになります。

1. 「アプリケーション CD」を CD-ROM ドライブにセットします。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
3. 表示されたウィンドウの「名前」欄に次のように入力し、「OK」をクリックします。
E:\Update\ETC\Mamew8\Update.exe
※「E:」には、お客様がお使いの CD-ROM ドライブのドライブ名を入力してください。
このあとは、表示されるメッセージに従って操作を進めてください。

- **Office 2000 Personal モデルのみ**

筆まめをアンインストールしたあと、再度インストールした場合は、添付の「アプリケーション CD」に収録されている「筆まめアップデート」もインストールしてください。インストール方法については、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「第 7 章 アプリケーションのインストールと削除」をご覧ください。

「筆まめアップデート」をインストールせずに筆まめをお使いになると、住所録ファイルの編集時に、ツールバーまたは「設定」メニューの「フォント」機能を利用したとき、「フォントの設定」ウィンドウの内容が正しく表示されない場合があります。

b19. 筆ぐるめの住所録データを FM 手帳に読み込むときの注意

C シリーズ、M シリーズ、ME シリーズ、S/457、BIBLO のみ

筆ぐるめで作成した住所録データを、FM 手帳の住所録に読み込む場合、双方が管理するデータ項目の単位が異なるため、次の点にご注意ください。

- 筆ぐるめの住所録データを CSV 形式で保存してください。保存する手順については、筆ぐるめのマニュアルをご覧ください。
- FM 手帳で CSV 形式のデータの読み込みを行う際は、CSV ファイルの読み込みウィザードの指定項目で、次の点にご注意ください。
 - 「種類と CSV ファイル名の設定」ウィンドウ
 - 「読み込む CSV ファイルの種類」には「筆ぐるめ住所録」を選択してください。
 - 「項目の関連付け」ウィンドウ
 - 「CSV ファイルの先頭行を項目名とする」のチェックマークをつけてください。
 - 「本体の項目」と「CSV ファイルの項目」の関連付けを変更する必要はありません。

- 読み込みが完了したデータは、FM 手帳の「住所録データの編集」機能で、次のように編集してからお使いください。
 - 筆ぐるめの「氏名」、「氏名読み」に姓名を空白文字で区切らずに入力していた場合、「個人情報」タブにある「姓」、「フリガナ姓」に入っていますので、それぞれ姓名を分けてください。
 - 「名前」をリストから選択してください。
 - 筆ぐるめの「自宅住所」は、空白文字を手掛かりに、「自宅」タブの「都道府県」、「市区郡庁」などに分かれて入っていますので使いやすいように分け直してください。
- また、同様に「会社住所」は、「勤務先」タブに入っていますので分け直してください。

b20.筆まめの住所録データを FM 手帳に読み込むときの注意

プリシェのみ

筆まめで作成した住所録データを、FM 手帳の住所録に読み込む場合は、双方が管理するデータ項目の単位が異なるため、次の点にご注意ください。

- 筆まめで住所録データをテキストファイル(.CSV ファイル)に保存する際に、「項目の選択」ウィンドウで、テキストファイルに保存する住所録データの項目を選択します。このとき、筆まめ住所録ファイルの各項目を、上から順にすべて選択してください。保存する手順については、筆まめのマニュアルをご覧ください。
- FM 手帳で CSV 形式のデータの読み込みを行う際は、CSV ファイルの読み込みウィザードの指定項目で、次の点にご注意ください。
 - 「種類と CSV ファイル名の設定」ウィンドウ
 - 「読み込む CSV ファイルの種類」には「筆まめ Ver.8→住所録」を選択してください。
 - 「項目の関連付け」ウィンドウ
 - 「CSV ファイルの先頭行を項目名とする」のチェックマークを外してください。
 - 「本体の項目」と「CSV ファイルの項目」の関連付けを変更する必要はありません。
- 読み込みが完了したデータは、FM 手帳の「住所録データの編集」機能で、次のように編集してからお使いください。
 - 筆まめの「氏名」、「フリガナ」に姓名を空白文字で区切らずに入力していた場合、「個人情報」タブにある「姓」、「フリガナ姓」に入っていますので、それぞれ姓名を分けてください。
 - 「名前」をリストから選択してください。
 - 筆まめの「住所1」、「住所2」は、空白文字を手掛かりに、「自宅」タブの「都道府県」、「市区郡庁」などに分かれて入っていますので使いやすいように分け直してください。
 - また、同様に「住所1(会社)」、「住所2(会社)」は、「勤務先」タブに入っていますので分け直してください。

b21.ささと家計簿について

C シリーズ,M シリーズ,ME/35B,S/457,プリシェ,NE/36LA,NE/36L,NE/36X,NE/33E,NR/33X のみ

デスクトップ上での右クリックなどで表示されるメニュー内の「新規作成」から「ALICE Document」は選択しないでください。「ALICE Document」を選択して作成したファイルは、開こうとしたときにエラーメッセージが表示されて開くことができません。

b22.サンリオアクセサリーについて

C シリーズ,M シリーズ,ME/35B,S/457,プリシェ,NE/36LA,NE/36L,NE/36X,NE/33E,NR/33X のみ

- スタートメニューの「アナログ時計」の作業用フォルダは、ご購入時は次のように設定されています。
 “C:\Program Files¥SANRIOAC¥アナログ時計¥”（「アナログ」は半角カタカナです。）
 なお、サンリオアクセサリーのみアンインストールし、再度インストールした場合、インストール直後は上記のように設定されません。ご購入時の状態に戻す場合は、再インストール後に次の手順で設定し直してください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「サンリオアクセサリー」、「アナログ時計」の順にマウスポインタを合わせて右クリックします。
 2. 表示されたメニューの「プロパティ」をクリックします。
 3. 「アナログ時計のプロパティ」ウィンドウの「作業用フォルダ」の欄に前述のパス名を入力し、「OK」をクリックします。
- 「デスクトップマスコット」を起動しているときは、デスクトップ上での範囲選択（アイコンを複数選択するときなどに利用）を正しく行うことができず、範囲を示す点線が画面に残る場合があります。
 デスクトップ上で範囲選択を行う場合は、「デスクトップマスコット」を終了してください。また、点線が残った場合は、デスクトップの何も無いところにマウスポインタを合わせて右クリックし、表示されたメニューの「最新の情報に更新」をクリックすると、点線が消えます。
- 「アナログ時計」を右クリックすると表示されるメニューから「この位置に固定」をクリックし、「この位置に固定」にチェックマークをつけた場合（時計の位置を固定した場合）、「アナログ時計」をクリックすると、「アナログ時計」が画面左上に移動し、画面からはみ出して表示されます。この場合は、「この位置で固定」を再度クリックしてチェックマークを外したあと（位置の固定を解除したあと）、「アナログ時計」をドラッグして位置を調整し直してください。

b23. ロボワードについて

プリシェのみ

- ロボワードのヘルプに音声データについて記載されていますが、本パソコンにインストールされているロボワードでは音声データは使用できません。あらかじめご了承ください。
- 「サンリオアクセサリ」の「デスクトップマスコット」を起動しているときは、ロボワードの翻訳結果（フローティングウィンドウ）が表示されない場合があります。ロボワードをお使いになるときは、「デスクトップマスコット」を終了してください。
- ロボワードの翻訳結果（フローティングウィンドウ）に表示される候補語が、意味不明の文字で表示される（文字化けする）場合があります。この場合は、フローティングウィンドウを表示し直してください。

b24. らくらく写真館について

C シリーズ、M シリーズ、ME/35B、S/457、プリシェ、NE/36LA、NE/36L、NE/36X、NE/33E、NR/33X のみ

- 「PhotoCard」でカードを編集するときに、「オートアニメ」の「変形」タブの機能を選択すると、処理に時間がかかる場合があります。あらかじめご了承ください。
- PhotoManager の「画像出力」メニューの「一括加工」をお使いのときに、「サーバー使用中」のメッセージが表示される場合がありますが、アプリケーションの動作には問題ありませんので、そのまま続けてお使いください。

b25. 「らくらく写真館」と「アクセサリ」の「拡大鏡」を同時にお使いになる場合の注意

C シリーズ、M シリーズ、ME/35B、S/457、プリシェ、NE/36LA、NE/36L、NE/36X、NE/33E、NR/33X のみ

「アクセサリ」の「拡大鏡」の起動中は、「らくらく写真館」の「PhotoEffector」を起動できません。同時にお使いになる場合は、いったん「拡大鏡」を終了し、先に「PhotoEffector」を起動してから改めて「拡大鏡」を起動し直してください。

b26. キーボードマスターについて

プリシェのみ

- 「ローマ字篇」の「ROUND6」をお使いのときに、押すキーによってはエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、「続行」をクリックしてください。引き続き操作を続けることができます。
- 「10 キー篇」をお使いになるときは、キーボードの「NumLock」のランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合は「NumLock」キーを押してください。「NumLock」のランプが点灯していないと、「10 キー篇」の練習はできません。
- 「かな文字篇」の「キーボードの設定」では、キーの配置として「独自ノートタイプ」は選択できません。「DOS/V 標準 JIS キーボード」を選択してください。
- キーボードマスターを起動中に、新たにキーボードマスターを起動すると、エラーメッセージが表示されます。この場合は、エラーメッセージとともに表示されているボタンをクリックしてください（どのボタンでもかまいません）。すでに起動していたキーボードマスターに戻ります。
- キーボードマスターで練習中に「Alt」キーを押しながら「Esc」キーを押すと、キーボードマスターのウィンドウが正しく表示されなくなったり、エラーメッセージが表示されたりする場合があります。この場合は、キーボードマスターをいったん終了し、起動し直してください。

b27. ゼンリン電子地図について

C シリーズ、M シリーズ、ME/35B、S/457、プリシェ、NE/36LA、NE/36L、NE/36X、NE/33E、NR/33X のみ

- 「編集」メニューから描いた鎖線の図形は、正しく印刷されない場合があります。あらかじめご了承ください。
- サポートバーの「施設」タブには、施設名称が一つも登録されていないジャンルがあります。あらかじめご了承ください。
- 3D 表示の状態でゼンリン電子地図帳 Z を終了すると、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、エラーメッセージのウィンドウのボタンをクリックしてウィンドウを閉じたあと、Windows98 を再起動してください。
- (CD-ROM「ゼンリン電子地図」をセットして)ゼンリン電子地図を起動しようとしても起動できない場合があります。この場合は、起動する前に次の手順に従って設定してください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「FM 便利ツール」の順にマウスポインタを合わせて「5.終わる」をクリックします。
 2. (CD-ROM「ゼンリン電子地図」をセットしたまま)「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「ゼンリン電子地図」の順にマウスポインタを合わせて「電子地図帳 Z」をクリックします。
 3. 「環境を設定する」ボタンをクリックし、「詳細設定」をクリックします。
 4. 「その他の設定」の「起動時の画面」の左のチェックマークを外します。
 5. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「FM 便利ツール」の順にマウスポインタを合わせて「4.はじめる」をクリックします。

- マウスカーソルのデザインを「なし」以外に設定してゼンリン電子地図をお使いになると、パソコンが反応しなくなる場合があります。この場合は、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。記載の手順に従ってください。

なお、本パソコンに添付の CD-ROM「アプリケーション CD」から最新のディスプレイドライバにアップデートすると、前述の問題は発生しなくなります。アップデートの手順については、「アプリケーション CD」の「Update」フォルダにある「readme.txt」をご覧ください。

また、ドライバのアップデートについては、「b65.ドライバのアップデートについて」も合わせてご覧ください。

b28.お父さんのための釣りについて

C シリーズ、M シリーズ、ME/35B,S/457,NE/36LA,NE/36L,NE/36X,NR/33X のみ

- 「○○○の釣り場」ウィンドウが、次のようになる場合があります。
 - アニメーションが止まる
 - ウィンドウ内での操作が効かなくなる
 この場合は、「お父さんのための釣りー川釣り編ー」ウィンドウにマウスポインタを合わせると、元に戻ります。
- 「釣果を見る」の「釣果閲覧」ウィンドウで、「印刷」または「戻る」をクリックしても反応しない場合があります。この場合は、再度ボタンをクリックしてください。

b29.Intellisync について

BIBLO のみ

- Intellisync の「サービスセンター」に記載されている、「プーマ テクノロジー株式会社」の電話番号および FAX 番号は、次のように変更されています。お問い合わせなどの際は、ご面倒ですが、下記番号にお問い合わせください。

電話:03-5627-5435

FAX:03-5627-5436

- 「ファイル転送」機能のツールバーにある「一覧」ボタンのバブルヘルプは表示できません。
- 赤外線通信中は、接続設定マネージャの「ローカルデバイス」タブの赤外線のデバイスのプロパティを開いて「IR ウィザード」を行わないでください。
- TranXit がインストールされている機種に Intellisync を上書きインストールした場合、表示されるウィンドウ内に「Transit」と誤記表示されています。
- ドライブ割当てされたネットワークコンピュータ名やボリュームラベルに全角の文字が使用されていると、正しく表示されない場合があります。
- Intellisync には、いくつかの制限事項があります。お使いになる前に、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「第 6 章 技術情報」の「赤外線通信ポートをお使いになるうえでの注意」の内容をよくお読みください。
- 「ファイル転送」で接続先が表示されない場合は、次のように設定を変更してください。
 1. 「ファイル転送」の「オプション」メニューから「設定」をクリックします。
 2. 「セキュリティ」タブをクリックします。
 3. 「リソースアクセス」の「ドライブの詳細」を選択します。
 これで設定は終了です。
- Intellisync をお使いになるときは、必ず BIOS の赤外線通信ポートのモード設定を FIR にしてください（ご購入時は FIR になっています）。

b30.MF/33 の VGA 機能について

- **デュアルディスプレイ(マルチモニタ)機能について**

デュアルディスプレイ機能は、サポートしておりません。本パソコンにインストールされているドライバは、デュアルディスプレイに設定ができますが、正しく動作しません。デュアルディスプレイには設定しないでください。

- **マウスポインタについて**

マウスポインタのデザインを「3D ポインタ」などに変更したり、ポインタの軌跡を表示する設定にしてお使いの場合、動画再生中の画面にマウスポインタを重ねると、マウスポインタが再生画面の下に隠れてしまうことがあります。この場合は、マウスポインタのデザインを「(なし)」に変更し、軌跡は表示させないように変更してお使いください。

- **「MS-DOS プロンプト」について**

「MS-DOS プロンプト」をお使いの際、画面の表示先(表示デバイス)を切り換えると、まれに「モニタの電源を切る」設定が働いた状態からの復帰、スタンバイからの復帰、および Save To Disk (ACPI モードでは休止状態)からの復帰で、表示先が切り換わってしまう場合があります。「MS-DOS プロンプト」をお使いの際は、画面の表示先を切り換えないでください。また、このような状態になった場合は、「Fn」キーを押しながら「F10」キーを押して表示先を LCD に切り換え、本パソコンを再起動してお使いください。

- **仮想スクリーンについて**

仮想スクリーンモードで、「画面のプロパティ」の「設定」タブの「詳細」をクリックして表示される、「NeoMagic」タブをクリックすると、画面が左上にジャンプする場合がありますが、動作には問題ありません。

● 液晶プロジェクタの使用について

「Advanced Settings」ウィンドウの「外付けディスプレイデバイス」を「プロジェクタ」に変更し、「プロジェクタの設定」の「種類」を接続するプロジェクタに合わせてください。なお、True Color の場合、および 1280x1024 ピクセルの場合は、プロジェクタに設定できません。色数を True Color 以外に設定するか、あるいは 1280x1024 以外の設定に変更してお使いください。

なお、「Advanced Settings」ウィンドウは次の手順で表示できます。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「画面」をクリックします。
3. 「設定」タブをクリックします。
4. 「詳細」をクリックします。
5. 「NeoMagic」をクリックします。
6. 「詳細」をクリックします。

● 色数を True Color に変更するとき

色数を True Color に変更するときは、「Advanced Settings」ウィンドウの「外付けディスプレイデバイス」を「CRT」に設定してから変更してください。

なお、「Advanced Settings」ウィンドウは次の手順で表示できます。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「画面」をクリックします。
3. 「設定」タブをクリックします。
4. 「詳細」をクリックします。
5. 「NeoMagic」をクリックします。
6. 「詳細」をクリックします。

● True Color に設定したときに正常に画面が表示されない場合は、「b65.ドライバのアップデートについて」をご覧ください。

● 一部のアプリケーションを使用した場合に、そのグラフィックデータにノイズが発生する場合は、「b65.ドライバのアップデートについて」をご覧ください。

b31.MF/33 のサウンド機能について

- Wave ファイル、または MIDI ファイルを再生中に、サウンドレコーダなどで録音すると、サウンドに雑音混ざります。ファイル再生中の録音はしないでください。
- サウンド再生中に Save To Disk にすると、復帰後に再開される再生音が雑音になります。この場合は、一度サウンド再生を停止させてください。その後は正常なサウンドが再生されます。

● ZV ポートについて

本パソコンは、出荷時の設定では ZV ポートをサポートしていません。ZV カードをお使いになる場合は、修正モジュールをインストールしてください。修正モジュールについては、インターネットの富士通パソコン情報ページ「FM WORLD」にて提供する予定です。アドレス(URL)は次のとおりです。

<http://www.fmworld.ne.jp/asupport.html>

- WAVE をミュートすると、MIDI もミュートされる場合があります。
- ボリュームコントロールの録音側の「表示するコントロール」の項目、「Sum」はお使いになれません。
- スピーカーフォンを使用したい場合は、「b43.マイクとスピーカを使った通話機能について」をご覧ください。
- マイクや電話からの音声を調節できない、またはサスペンド時、Windows 終了時の雑音を緩和したい場合は、「b65.ドライバのアップデートについて」をご覧ください。
- Wave 音・MIDI 音再生中(一時停止を含む)に DOS 窓を開かないでください。DOS 窓が開く瞬間に右チャンネルから雑音が出ます。DOS 窓を開くときは、いったん音量ボリュームを下げるか、またはいったん Wave 音・MIDI 音を発するアプリケーション(ゲーム等)を終了させてください。

● Microsoft NetMeeting について

再生デバイスに「Roland VSC-88」を選択した場合は、Microsoft NetMeeting(「オーディオ調整ウィザード」など)で再生時の音量を調節できません。この場合は、スピーカ、本体の音量ボリューム、タスクバーの「スピーカ(音量)」アイコンなどを使って音量を調節してください(詳しくは、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』をご覧ください)。また、再生デバイスに「Roland VSC-88」以外を選択すると、Microsoft NetMeeting で再生時の音量を調節できます。

b32.MF/33 に携帯電話を接続してお使いの場合

携帯電話を PDC コネクタに接続して通信中、通信が切断されてしまう場合は、次の設定を変更してください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「システム」をクリックします。
3. 「パフォーマンス」タブをクリックし、「グラフィックス」をクリックします。

4. 「ハードウェア アクセラレータ」のスライドバーを「なし」にドラッグし、「OK」をクリックします。
5. 「閉じる」をクリックします。
6. 「システム設定の変更」ウィンドウの「はい」をクリックし、本パソコンを再起動します。

b33.「CD ボタンハンドラ」について

(Windows 動作時のマルチベイヤアダプタの音楽 CD 再生用ボタン操作について)

MF/33 のみ

「CD ボタンハンドラ」は、Windows 動作時に、マルチベイヤアダプタの音楽 CD 再生用ボタンを操作できるようにする、常駐アプリケーションです。

- 「CD ボタンハンドラ」が対応する音楽 CD 再生アプリケーションは、Windows95 および Windows98 に付属の「CD プレーヤー」、および Windows98Plus! の「デラックス CD プレーヤー」です。「CD ボタンハンドラ」をお使いの場合は、これらのアプリケーションを本パソコンからアンインストールしないでください。
- Windows 付属の CD プレーヤー以外のアプリケーションを音楽 CD 再生アプリケーションに設定している場合、「CD ボタンハンドラ」が警告メッセージを表示します。この場合は、音楽 CD 再生アプリケーションを次のように設定してお使いください。
`C:\windows\cdplayer.exe`
- 「CD ボタンハンドラ」では、DVD ビデオやビデオ CD は再生できません。

b34.本体電源が OFF の状態で、マルチベイヤアダプタを CD プレーヤーとしてお使いになるとき

MF/33 のみ

マルチベイヤアダプタに内蔵 CD-ROM ドライブユニットや、内蔵 DVD-ROM ドライブユニットを接続した場合、まれにマルチベイヤアダプタの「CD 再生 On/Off」ボタンが動作しない場合があります。この場合は、マルチベイヤアダプタのケーブルをパソコン本体側から取り外し、再度接続してください。

b35.「アクセサリ」の「サウンドレコーダー」について

BIBLO のみ

サウンドレコーダーで録音する場合、録音時と比較するとやや音量が小さくなります。この場合には録音コントロールのウィンドウにて録音レベルを調整してください。調整方法は、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「音量を調節する」をご覧ください。

b36.MPEG ファイルの再生について

ME シリーズ、プリシェ、BIBLO のみ

MPEG ファイルを重ねて再生しないでください。画像が乱れる場合があります。

b37.通信ジューク 4、Music Box、DoReMiX について

MF/33 のみ

「マルチメディアのプロパティ」ウィンドウ（「コントロールパネル」の「マルチメディア」をクリックすると表示されます）の「MIDI」タブの「単一の機器」に「Roland VSC-88」以外が選択されている場合は、通信ジューク 4、Music Box、DoReMiX の一部の機能をお使いになることができません。これらのアプリケーションをお使いになるときは、前述の設定を「Roland VSC-88」に変更してください。

● 通信ジューク 4 について

タスクバーの VSC-88 ヘルパー・アイコンから「VSC-88 を使う (DirectSound)」に切り替えてお使いの際は、通信ジューク 4 で曲を演奏したときに、音が途切れながら再生される場合があります。この場合は、「背景画像の表示」を「なし」にすると改善されることがあります。

b38.市販の MIDI 機器を接続するには

DESKPOWER のみ

市販の MIDI 機器を接続する場合、本パソコンの背面にある MIDI/JOYSTICK 端子に、MIDI/JOYSTICK 変換ケーブルを用いて接続してください。接続には MIDI/JOYSTICK 変換ケーブルが必要です。別途ご購入ください。

MIDI 機器との接続について詳しくは、MIDI 機器のマニュアルをご覧ください。

b39.ヘッドセットのサポートについて

DESKPOWER のみ

本パソコンの内蔵モデムでは、ヘッドセットはサポートしていません。

b40. ナンバーディスプレイを契約されている電話回線をお使いの方へ

C/50L,C/45L,C/457,S/457,プリシェのみ

- 本パソコンの内蔵モデムはナンバーディスプレイ(注1)に対応していますが、ナンバーディスプレイに対応したアプリケーションが必要となります。モデムを使ったアプリケーション(注2)が動作している場合に、ナンバーディスプレイに対応した電話機、アダプタがつかないときは、電話機、アダプタを取り外すか、ナンバーディスプレイに対し動作しないように設定してお使いください。

注1: お客さまの契約されている回線がナンバーディスプレイに対応している場合に限りです。また電話をかけてきた相手の電話回線が電話番号非通知となっている場合、携帯電話、NTT 以外の電話会社と契約している場合、お客さまの使用している回線が ISDN 回線経由の TA のアナログポートに回線を接続している場合、構内回線(PBX)で接続している場合、スタンバイ状態から電話の呼び出しによって Wake Up した場合は、電話番号が表示されないことがあります。

注2: 特に TAPI に対応したアプリケーションは必ずお守りください。

注3: モデムのアプリケーションが動作しておらずかつ電話機、アダプタをナンバーディスプレイに対し動作しないように設定している場合に電話がかかってくると、短いリング音が約 6 回聞こえます、この間に受話器を取りますと回線が切れてしまいます。リング音が 6 回以上なった後に受話器をお取りください。

- モデムを使用して WAKE UP を行なう場合、WAKE UP 時に誤動作して回線が切断される場合があります。この状態でお使いの場合は、アプリケーション CD の「UPDATE」フォルダにある本パソコンの内蔵モデムのドライバにアップデートしてください。
- WAKE UP 時にナンバーディスプレイ用の短いリングが聞こえることがありますが、この時に受話器を取ると回線が切断されてしまいます。この場合は、通常のリング音が聞こえるまで待つてから、受話器を取ってください。

C/40L,C/407,C/405,M シリーズ,ME シリーズのみ

本パソコンの内蔵モデムはナンバーディスプレイに対応していません。お客様が契約している回線が、ナンバーディスプレイに対応している場合は、ナンバーディスプレイに対応した電話機かアダプタをお使いください。お客様の電話機やアダプタがナンバーディスプレイに対応していないと、短いリング音が聞こえたり、回線に接続しても、すぐに切断されたりする場合があります。

C/40L,C/407,C/405,M シリーズ,ME シリーズ,BIBLO のみ

FAX 自動受信などを行う場合は、お使いの通信アプリケーションの応答するまでのコールの回数を3回以上に設定してください。

b41. FAX 留守番電話について

C/50L,C/45L,C/457,S/457,プリシェのみ

電話の音声小さい場合は、次の手順で音声を大きくしてください。

1. タスクバーの「音量」アイコンをダブルクリックします。
「出力マスター」ウィンドウが表示されます。
2. 「出力マスター」の音量つまみを上にドラッグして、音量を最大にします。
3. 「オプション」メニューの「プロパティ」をクリックします。
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
4. 「表示するコントロール」の一覧にある「電話」をクリックしてチェックマークをつけ、「OK」をクリックします。
「出力マスター」に「電話」が表示されます。
5. 「電話」の下にある「ミュート」の左が「口」になっているか確認し、音量つまみを上へドラッグして、音量を最大にします。
6. 「オプション」メニューの「プロパティ」をクリックします。
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
7. 「表示するコントロール」の一覧にある「電話」をクリックしてチェックマークを外し、「OK」をクリックします。
「出力マスター」の「電話」が消えます。
8. 「出力マスター」ウィンドウの右上にある「閉じる」ボタンをクリックします。

C/50L,C/45L,C/457,S/457,プリシェ,BIBLO のみ

- **スピーカーフォン機能で通話中の FAX 受信について**

スピーカーフォン機能で通話中に FAX 受信する場合、自動的に FAX 受信に切り替わらない場合があります。あらかじめご了承ください。

BIBLO のみ

FAX 留守番電話は、PDC コネクタに携帯電話を接続して通信する場合はお使いになれません。

MF/33 のみ

スピーカーフォンを使用する場合は、あらかじめアプリケーションCDのアップデートフォルダの中にあるサウンドドライバにアップデートしてください。

b42.FAX 留守番電話や FAX を使って自動受信を行う場合

BIBLO のみ

留守番電話や FAX 自動受信のアプリケーションをお使いになる場合、省電力機能が働くとアプリケーションが機能しないため動作しません。この場合は、次の手順で、電話が着信したら省電力機能が解除されるように設定してください。

1. タスクバーの PMS98 をクリックします。
 2. 「その他」タブの「電話が鳴ったら、パソコンを元の状態に戻す」をクリックしてチェックマークをつけ、「OK」をクリックします。
 3. 「OK」をクリックします。
- これで設定は終了です。

BIBLO をバッテリーでお使いの場合、上記の設定を行うと、省電力機能が働いているときの消費電力が増加するため省電力機能の保持時間が短くなります。この場合は、AC アダプタをお使いください。

b43.マイクとスピーカーを使った通話機能について

C/50L,C/45L,C/457,プリシェ,S/457,BIBLO のみ

電話機能の留守番電話などの通信アプリケーションで、マイクとスピーカーを使った通話機能をお使いになる場合は、次の点にご注意ください。

- 雑音の多い環境での使用は避けてください。マイクに雑音が入ってしまい、十分な通話レベルが確保できない場合があります。
- マイクとスピーカーを使って通常の通話をする場合、マイクに近づきすぎたり、過大な音声で話をする、相手に聞こえる音声途切れ途切れになることがあります。マイクから約 30cm 程離して対話してください。また、話し始めの音声は相手に聞こえにくいことがあります。
- BIBLO に内蔵されているスピーカーおよびマイクを同時に使用すると、音量によってはハウリングを起こす場合があります。また、内蔵のスピーカーとマイクでは十分な通話レベルを確保できない場合があります。この場合は、市販のヘッドホン／マイクをお使いください。

MF/33 のみ

- スピーカーフォンを使用したい場合は、「b65.ドライバのアップデートについて」をご覧ください、ドライバをアップデートしてください。
- スピーカーフォンを使用する場合は、あらかじめ「ボリュームコントロール」ウィンドウの再生側の「マイク」と「Phone」の「ミュート」のチェックマークを外してください。
- スピーカーフォン使用後は、ハウリング防止のため、「マイク」の「ミュート」にチェックマークをつけてください。「マイク」や「Phone」が表示されていない場合は、「ボリュームコントロール」ウィンドウの「オプション」の「プロパティ」にある音量の調整の再生を選択してください。「マイク」と「Phone」が表示されます。
- ハウリングが発生した場合、「ボリュームコントロール」ウィンドウの「マイク」(再生側)のツマミを少しだけ下げてください。それでも直らない場合は、ヘッドホンを使ってください。「ボリュームコントロール」ウィンドウの「マイク」(再生側)のつまみを下げすぎると、電話の向こうの相手に声が届かなくなるのでご注意ください。
- 電話の向こう側(相手)には、「ボリュームコントロール」の再生側でミュートしていないものすべての音源が音声として伝わります。Wave などの音が電話の向こう側(相手)に伝わらないようにしたい場合は、「ボリュームコントロール」ウィンドウ(再生側)で、伝えたくない音源の項目の「ミュート」にチェックマークをつけてください。
- 「機能」の「音量調節」のツマミは、「ボリュームコントロール」ウィンドウ(再生側)のツマミに連動しているため、ここでの音量調節は、本パソコン全体の音量に影響します。
- 「機能」の「音量調節」の「スピーカーフォンマイク」のツマミは、右端(プラス方向最大)にしてご使用ください。電話の向こう側(相手)に届く音声が大きすぎる場合は、少しだけマイナス方向に調整してください。

b44.スピーカーフォン／通話録音・通話再生機能について

C/50L,C/45L,C/457,S/457,プリシェのみ

- マイクからの音声は、十分小さい音量ですがスピーカからも聞こえます。
- 通話録音／通話再生の音声は、スピーカからも聞こえます。聞きたくない場合は、スピーカのボリュームを調整してください。

b45.PEOPLE をお使いの方へ

C/40L,C/407,C/405,Mシリーズ,ME シリーズのみ

9600bps のアクセスポイントに接続すると、2400bps で接続される場合があります。また、9600bps での接続は、ノーマルモードで接続されます。

b46. マスターネットをお使いの方へ

DESKPOWER のみ

2400bps または 28800bps では、XMODEM のデータ転送が正常に行なわれません。この場合は、ZMODEM にてデータ転送してください。

C/40L,C/407,C/405,Mシリーズ,ME シリーズのみ

9600bps での接続は、ノーマルモードで接続されます。

b47. 1200bps でお使いの場合

C/40L,C/407,C/405,Mシリーズ,ME シリーズのみ

1200bps ノーマルモードで接続した場合は、相手から切断された場合、正常に切断処理が行なわれません。この場合は、通信アプリケーションをいったん終了し、他の通信速度かノーマルモード以外のモードで接続し直してください。

b48. コントロールパネルの「ハードウェアの追加」について

MF/33 のみ

本体のみでの使用中、コントロールパネルの「ハードウェアの追加」を行った場合、「新しいハードウェアの追加ウィザード」に「セカンダリ IDE コントローラ」が検出されてしまいます。この場合は、「デバイスは一覧にない」に●をつけてから「次へ」をクリックしてください。

b49. 休止状態 (Save To Disk 機能) について

MF/33 のみ

ACPIモードでは休止状態をサポートしていません。Windows98 の「電源の管理」で「休止状態」タブの「休止状態をサポートする」にチェックマークをつけないでください。「電源の管理」で「休止状態」タブの「休止状態をサポートする」を設定し、「電源ボタン」を「休止状態」に設定した状態で、マルチベイヤダプタが接続されていないときに SUS/RES スイッチを押すと、それ以降は「休止状態」を設定していても「スタンバイ状態」(Suspend)になってしまう場合があります。

b50. モデム着信によるレジャームについて

BIBLO のみ

ACPI モードでは、スタンバイ状態 (Suspend)のときにモデム着信すると、常にレジャームします。スタンバイ状態 (Suspend)のときにモデム着信でレジャームさせたくない場合は、モジュラーコネクタからモジュラージャックを抜いてください。

b51. 別売モデムをお使いになる方へ

DESKPOWER のみ

PCI/ISA バス用の内蔵モデムカードを追加することはできません。モデムを追加する場合は COMポートにつながる外付けモデムをお使いください。

b52. ソフトウェアカーソルについて

ME シリーズのみ

ソフトウェアカーソル (アニメーションポインタなど) を使用するとカーソルがフラッシュすることがあります。

b53. Direct3D の HAL (Hardware Abstraction Layer) の使用について

DESKPOWER のみ

256 色、True Color(24 ビット)では、Direct3D のハードウェアアクセラレーション(HAL)はサポートしておりません。色数を 256 色、True Color(24 ビット)に設定した状態で、Direct3D 対応のアプリケーションを表示させた場合、ソフトウェアでの実行となるため、表示速度／表示画質に問題が生じる場合があります。この場合は、High Color(16ビット)をお使いください。

b54. 画面の乱れについて

C シリーズのみ

Windows98 の起動および終了画面や、省電力機能から復帰するときなど、画面表示の開始時や表示モードが切り替わる時、一時的に画面が乱れたり、横線が見える場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

b55.壁紙の設定について

NR/33X のみ

壁紙の設定で「ブルーリング」や、模様パターン各種を「並べて表示」にすると、表示が崩れる場合があります。この場合は、ディスプレイドライバをアップデートしてお使いください。

b56.Windows98 終了時の画面表示について

NR/33X のみ

Windows98 終了時、終了画面や電源を切る準備のメッセージが表示されないまま、電源が切れる場合がありますが、使用上問題はありません。

b57.モニタの設定について

C シリーズ

デバイスマネージャーにおいて、モニタのプロパティが「モニタ不明」になる場合がありますが動作には問題ありません。このような状態になった場合は、本パソコンを再起動してお使いください。

b58.Start.wav について

DESKPOWER のみ

Start.wav (「サウンドのプロパティ」にて「ナビゲーション開始」に割り当てられている音)の再生時、音が小さくなる場合がありますが、動作上問題ははありません。

b59.ACPIモードからAPMモードに変更する場合

M シリーズ、ME シリーズのみ

ACPIモードからAPMモードに変更する場合は、あらかじめ APM システム情報設定ツールを、インターネットにあるホームページ(FM WORLD)よりダウンロードしてください。アドレス(URL)は次のとおりです。

<http://www.fmworld.ne.jp/>

ダウンロードしたファイルを開くと、設定ツールとインストール手順の説明ファイルが作られます。その後、次の手順に従ってください。

1. 添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』をご覧になり、記載の手順に従ってACPIモードからAPMモードに変更します。
2. ダウンロードした、インストール手順の説明ファイル(readme.txt)に記載の手順に従って、ダウンロードした fixapm.exe を実行します。

b60.別売のPS/2キーボードやPS/2マウスをお使いの方へ

C/40L,C/407,C/405,ME シリーズのみ

Windows98のACPIモードでは別売のPS/2キーボードやPS/2マウスで省電力機能から復帰できません。

b62.エラー画面表示について

NE シリーズのみ

「CD-ROM 読み取りエラー」などのエラー表示画面が正常に表示されない場合がありますが、Windows 画面へ復帰後は正常に表示されます。

b63.マウスポインタの表示について

NE シリーズのみ

マウスポインタを「Windowsスタンダード(大きいフォント)」などに設定していると、色数や解像度の変更やウィンドウのドラッグ中に、マウスポインタの表示が、砂時計形状から矢印形状に戻らない場合があります。この場合は、マウスポインタをタスクバー上へいったん移動させることで、正常に戻ります。

b64.デバイスの削除/ドライバの更新について

BIBLO のみ

「システムのプロパティ」の「デバイスマネージャ」において、特にサウンドドライバの「デバイスの削除」または「ドライバの更新」を行う場合、「システムの変更」ウィンドウで「はい」をクリックしたあと、再起動に非常に時間がかかる場合があります。

b65.ドライバのアップデートについて

BIBLO のみ

「アプリケーション CD」に最新版のドライバが入っています。通常はドライバをアップデートする必要はありませんが、次のような場合のみ、ドライバをアップデートしてお使いください。アップデートの手順については、「アプリケーション CD」の「Update」フォルダにある「README.TXT」をご覧ください。

- 赤外線通信機能をお使いになる場合で、データ転送がうまく行われない場合、赤外線ドライバをアップデートしてお使いください。

※ドライバの名称:SMC IrCC NDIS 5.0 IrDA FIR Device Driver V2.28.0.0

MF/33 のみ

- ご購入時には画面の色数は High Color に設定されています。設定を True Color に変更してお使いになる場合、次のような現象が起こる場合がありますので、ディスプレイドライバをアップデートしてお使いください。

- MS-DOS プロンプトを使用すると画面の色が正しく表示されない

- マウスで選択した項目(青いハイライト表示)にマウスカーソルを合わせると白く欠ける

また、画面の色数の設定が True Color または 256 色のとき、ワープロ／表計算ソフトでグラフィックを表示すると、グラフィックに残像が残る場合があります。このような場合にも、ディスプレイドライバをアップデートしてください。

※ドライバの名称:NeoMagic MagicMedia 256AV V2.07.01T

- 次のような場合、サウンドドライバをアップデートしてお使いください。

- スピーカーフォン機能(内蔵マイクとスピーカーで通話する機能)をお使いになる場合

- マイクや電話の音声を調整する場合

- 画面モード 1024×768 ピクセル(仮想スクリーンモードまたは外部 CRT 表示)で、画面の色数を True Color に設定する場合

- Windows の終了時やサスペンド時に雑音が気になり、雑音を緩和したい場合

※ドライバの名称:NeoMagic MagicMedia 256AV + AC97 Driver (WDM) V1.07.019Q

NE シリーズのみ

本パソコンに添付の CD-ROM「ドライバーアップデート CD」に最新版のドライバが入っています。通常はドライバをアップデートする必要はありませんが、次のような場合のみ、ドライバをアップデートしてお使いください。アップデートの手順については、添付マニュアル「ドライバーアップデートガイド」をご覧ください。

- 次のような場合は、サウンドドライバをアップデートしてお使いください。

- おしゃべりホームページ使用時に音声再生ができない場合

- SANRIO TINY PARK4 の動作中に、省電力機能を働かせ、復帰後に音が出なくなる場合

※ドライバの名称:YAMAHA DS-XG PCI Audio driver V 4.06.1032

- 次のような場合は、ディスプレイドライバをアップデートしてお使いください。

- True Color(32 ビット)で、らくらく写真館、サンリオアクセサリーをお使いになる場合

- High Color(16 ビット)で、アニメーション GIF イメージを表示する場合

- 背景の壁紙の設定を「ブルーリング」にする場合

- 「MS-DOS プロンプト」の「画面」タブにある「使い方」の設定を全画面表示にする場合

※ドライバ名称:ATI MOBILITY AGP(日本語) V Church-B32

NR/33X のみ

Windows98 の起動と終了を繰り返すような操作をした場合、パソコンが自動的にシャットダウンすることがあります。このような場合は、ディスプレイドライバをアップデートしてお使いください。

※ドライバの名称:RAGE LT PRO AGP 2X (Japanese) V5.25-B58R

S/457 のみ

本パソコンに添付の CD-ROM「アプリケーション CD」に最新のドライバが入っています。通常はドライバをアップデートする必要はありませんが、次のような場合のみ、ドライバをアップデートしてお使いください。アップデートの手順については、「アプリケーション CD」の「Update」フォルダにある「readme.txt」をご覧ください。

- マルチモニタ設定時にスタンバイ(省電力機能)をお使いになる場合

- マウスカーソルのデザインを「なし」以外に設定して、ゼンリン電子地図帳 Z を使用したり、MS-DOS プロンプトをフルスクリーンにしてお使いになる場合

- DIRECT X を使用するゲームで問題が発生する場合

※ドライバの名称:ATI RAGE128 VR Display Driver for Windows98 Ver.4.11.6114

b66.通信速度、および通信モードの設定について

DESKPOWER のみ

お客様が接続されている相手側のモデムの設定内容(接続速度/接続モード)によっては、正常に接続できない場合があります。この場合は、お客様のモデムの設定(接続速度/接続モード)を相手側のモデムと同じ設定にして接続してください。

b67.「アクセサリ」の「外字エディタ」について

プリシェ,BIBLO のみ

「ツール」の「四角形選択」と「自由選択」をお使いの場合に、編集ウィンドウにごみのようなものが表示される場合があります。これは「外字エディタ」ウィンドウが再描画されるときに消えますので問題ありません。

b68.増設した拡張カードの MS-DOS 版ユーティリティを使う場合

Cシリーズ,Mシリーズ,S/457,プリシェのみ

拡張カードを増設し、拡張カードに添付されている MS-DOS 版のユーティリティをフロッピーディスクから起動して使う場合など、プラグアンドプレイに対応していない OS をお使いになる場合は、必ず次の設定を行ってください。次のように設定しないと、拡張カードによっては、お使いのユーティリティに正常に認識されない場合があります。

設定方法については、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』をご覧ください。

- BIOS セットアップの PnP/PCI メニューの「プラグアンドプレイ対応 OS」の項目を「いいえ」に設定してください。

b69.電源投入直後および再起動時のキーボード入力について

Mシリーズのみ

電源投入直後および再起動時に、キーボードを連打しないでください。キーボードが効かなくなったり、本パソコンが動作しなくなることがあります。

b70.APMモードからACPIモードに変更する場合

NR/33X のみ

本パソコンご購入時は、省電力機能として APM モードに設定されています。ACPI モードに変更する場合は、インターネットにあるホームページ(FM WORLD)をご覧ください。アドレス(URL)は次のとおりです。

<http://www.fmworld.ne.jp/>

NE シリーズのみ

本パソコンご購入時は、省電力機能として APM モードに設定されています。ACPI モードに変更した場合、省電力機能から復帰すると画面が乱れますので、省電力機能(サスペンドおよびスタンバイ機能)をお使いになれません。詳しくは、インターネットにあるホームページ(FM WORLD)をご覧ください。アドレス(URL)は次のとおりです。

<http://www.fmworld.ne.jp/>

b71.NE シリーズのディスプレイについて

- CRT ディスプレイを接続する場合、「画面のプロパティ」では85Hzより上のリフレッシュレートの設定ができるように見えますが、実際の CRT ディスプレイの周波数は、次になります。
CRT 表示のみの場合 :1280 x 1024 以下は 60Hz - 85Hz
 :1600 x 1200 は 60Hz
同時表示の場合 :60Hz
- マウスポインタの設定を「3Dポインタ」、「Windows スタンダード(大きいフォント)」、および「Windows スタンダード(特大のフォント)」に設定していると、マウスカーソルが矢印に戻らない場合があります。この場合は、マウスポインタをタスクバーへ移動すると矢印に戻ります。
- CD-ROM 読み取りエラー等の表示画面が正常に表示されない場合がありますが、問題を修正した後に Windows 画面に復帰すると、画面表示は正常に戻ります。
- Direct X を使用したアプリケーションの一部において、表示が乱れる場合があります。ご了承ください。
- CRT ディスプレイを接続する場合、コントロールパネルの「電源の管理のプロパティ」にある「モニタの電源を切る」の設定は「なし」にしてください。
- 「画面のプロパティ」の「模様」の設定を「かぎ穴」にすると、模様が乱れる場合があります。他の模様は正常に表示されます。

b72.ディスプレイケーブルの接続について

Cシリーズ,Mシリーズのみ

本体の電源を入れた後、ディスプレイケーブルを接続すると、画面表示が崩れて停止している場合があります。この場合は、電源スイッチを5秒以上押して電源を切り、ディスプレイケーブルの接続を確認し、再び電源を入れてください。

Windows98 起動後に色数・解像度の設定が変わっている場合は、もう一度設定し直してください。

b73.FM-Menu をお使いになる場合

(Office 2000 Personal モデル除く)

M シリーズ,C シリーズのみ

「MS-DOSプロンプト」又は「Windows98 へようこそ」のウィンドウを開いた状態でFM-Menuを使用中に、省電力機能を働かせると、システムが応答しなくなる場合があります。FM-Menuをお使いになる場合は、必ず「MS-DOS プロンプト」及び「Windows98 へようこそ」ウィンドウを閉じてください。システムが応答しなくなった場合は、いったん電源スイッチを4秒以上押して電源を切り、再度電源を入れて下さい。

なお、インターネットにあるホームページ(FM WORLD)よりATI RAGE LT PRO グラフィックディスプレイドライバをダウンロードしてドライバをアップデートすることで本内容は修正されます。アドレス(URL)は次のとおりです。

<http://www.fmworld.ne.jp/>

b74.Lotus 1-2-3 2000 使用中の省電力機能について

C シリーズ,M シリーズのみ

Lotus 1-2-3 2000 を起動中に省電力機能を働かせると、復帰できない場合があります。Lotus 1-2-3 2000 使用中は、省電力機能を働かせないでください。復帰できない場合は、「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを押して、Windows98 を再起動してください。

なお、インターネットにあるホームページ(FM WORLD)よりATI RAGE LT PRO グラフィックディスプレイドライバをダウンロードしてドライバをアップデートすることで本内容は修正されます。アドレス(URL)は次のとおりです。

<http://www.fmworld.ne.jp/>

b75.OASYS フロッピーのサポートについて

ME シリーズのみ

本パソコンで OASYS 文書フロッピーをお使いになるためには、OASYS V6 L10 rel10I 以降が必要です。なお、本パソコンでは2HD の OASYS 文書フロッピーを作成することはできません。2DD の OASYS 文書フロッピーの作成/書き込み/読み出し、2HD の OASYS 文書フロッピーの書き込み/読み出しはできます。

b76.AC 復電時の動作について

M シリーズ,ME シリーズのみ

本パソコンは AC 切断時の状態保持機能を持っていません。電源投入状態で停電などによって AC 入力がなくなり、その後回復しても電源は OFF 状態のままとなります。このため、無停電電源装置などで AC 電源を ON/OFF してパソコンの運用を制御することはできません。

b77.画面の表示について

S/457 のみ

- スタートメニューからアプリケーションを起動した場合、画面上部が乱れる場合があります。この場合は、デスクトップ上で右クリックし「最新の情報に更新(F)」をクリックすると元の画面に戻ります。
- 色数を256色にすると、スタートボタンがちらついて表示される場合がありますが、動作上問題はありません。
- 画面のプロパティで解像度、色数やリフレッシュレートを変更すると画面がディスプレイの中央に表示されない場合があります。この場合は、リフレッシュレートの値を85Hzに設定するか、ディスプレイ側で表示位置を調整してください。なお、他社製のディスプレイや液晶ディスプレイをお使いの場合は、製品の仕様を確認の上お使いください。

b78.ナンバーディスプレイ表示用アダプタをお使いの方へ

C/40L,C/407,C/405,M シリーズ,ME シリーズのみ

ナンバーディスプレイ表示用のアダプタをつけて通信を行うと、通信速度が若干低下することがあります。

b79.アプリケーション動作中の異音について

M シリーズのみ

一部のアプリケーション(ゲーム等)において、動作中に「チツ」と音がすることがあります。この場合は、次の手順に従ってハードウェア アクセラレータを無効にしてください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「マルチメディア」をクリックします。
「マルチメディアのプロパティ」ウインドウが表示されます。
3. 「マルチメディアのプロパティ」ウインドウの「オーディオ」タブにある「再生」の「詳細のプロパティ」をクリックします。
「オーディオの詳細プロパティ」ウインドウが表示されます。

4. 「オーディオの詳細プロパティ」ウインドウの「パフォーマンス」タブをクリックします。
5. 「オーディオ再生」の「ハードウェア アクセラレータ」のつまみを「最大」から「なし」にドラッグします。
6. 「OK」をクリックします。
「オーディオの詳細プロパティ」ウインドウが閉じます。
7. 「マルチメディアのプロパティ」ウインドウの「OK」をクリックします。

b80.筆ぐるめの「恋文ペン字」フォントをお使いになる場合

(Office 2000 Personal モデルのみ)

C シリーズ、M シリーズ、ME シリーズ、S/457、BIBLO のみ

「恋文ペン字」フォントは、ご購入時の状態ではお使いになれません。お使いになる場合は、「C:\Program files\Fgw\Bgpknk.ttf」ファイルを「C:\Windows\Fonts」フォルダに移動してください。ファイルの移動方法については、添付マニュアル『かるがるパソコン入門』をご覧ください。

ただし、前述のファイルを移動すると、「Visual Basic Editor」(Word2000 または Excel2000 の「ツール」メニューの「マクロ」から起動できます)で表示される一部の半角文字が読みにくくなります。あらかじめご了承ください。

また、筆ぐるめをアンインストールし、フォントと共に再インストールした場合も、「Visual Basic Editor」での表示が前述のようになります。この場合は、「C:\Windows\Fonts\Bgpknk.ttf」ファイルを「C:\Program files\Fgw」フォルダに移動してください。

b81.FrontPage Express について

C シリーズ、M シリーズ、ME シリーズ、S/457、BIBLO のみ

FrontPage Express では、次のフォントを設定した個所は正しく表示できません。あらかじめご了承ください。

江戸勘亭流、江戸勘亭流 P、祥南行書体、麗流隷書

ただし、上記フォントを設定したデータを保存して Internet Explorer で表示すると、正しいフォントで表示されます。

b82.おまかせ記文について

(Office 2000 Personal モデルのみ)

プリシェのみ

本パソコンにインストールされている「おまかせ記文」は、Word2000 との組み合わせでもお使いになります。

添付マニュアル『おまかせ記文 V2 ユーザーズガイド』は、ご面倒ですが、「Word98」の記載を「Word2000、Word98」と読み替えてご覧ください。

b83.らんらんチャチャチャで Office 2000 Personal をお使いになる場合

(Office 2000 Personal モデルのみ)

プリシェのみ

Office 2000 Personal のプログラムを「らんらんチャチャチャ」のアイテムに登録する場合は、以下の手順で行ってください。

1. タスクトレイにある「らんらんチャチャチャ」のアイコンを右クリックし、「アイテムをつくる」をクリックします。
2. 表示されるウインドウ内で、「アイテムの登録状況」の「<未登録>」となっているいずれかのアイテムをダブルクリックします。
3. 「アイテムを登録します」ウインドウ内の「プログラムの指定」の「参照」ボタンをクリックします。
「ファイルの参照」ウインドウが表示されます。
4. Office 2000 Personal のインストールフォルダにあるプログラム(注 1)を選択し、「開く」ボタンをクリックしてウインドウを閉じます。
5. 「OK」ボタンをクリックし、「アイテムを登録します」ウインドウを閉じます。
6. 「OK」ボタンをクリックして表示されているウインドウを閉じます。

(注 1)

Office 2000 Personal のプログラム名と、インストールフォルダ(デフォルトでは C:\Program Files\Microsoft Office\Office)にあるファイル名の対応は、以下の通りです。

プログラム名	ファイル名
Microsoft Word	Winword.exe
Microsoft Excel	Excel.exe
Microsoft Outlook	Outlook.exe

b84.市販のゲームの動画画面表示がスムーズに動かない場合

S/457のみ

お使いになる市販のゲームによっては動画の画面表示がスムーズに動かない場合がありますが、故障ではありません。この場合は、次の手順に従ってFM便利ツールを終了してください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「FM便利ツール」、の順にマウスポインタを合わせ、「終わる」をクリックします。

なお、FM便利ツールを終了すると、キーボードのワンタッチボタンは使えません。ゲーム終了後は、次の手順でFM便利ツールを起動してください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「FM便利ツール」、の順にマウスポインタを合わせ、「はじめる」をクリックします。

b85.IDE規格のハードディスク、MO、CD-ROM等を増設する場合

S/457のみ

IDE規格の機器を増設する場合は、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の P.100 のアドバイスをご覧になり、増設してください。その後、増設した機器、およびDVD-ROMのデバイスマネージャの設定が正しいか次の手順で確認してください。正しい場合は、設定を修正してください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「システム」をクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
3. 「CD-ROM」の左側の「+」をクリックし、「MATSHITA DVD-ROM SR8584A」をクリックします。
4. 「プロパティ」をクリックし、DMAにチェックマークがついていることを確認します。
付いていない場合は、クリックしてチェックマークをつけます。
5. 増設したIDE規格の機器も同様に確認してください。このとき増設した機器のデータ転送モードが、ULTRA DMAをサポートしている場合は、DMAにチェックマークがついていることを確認します。
付いていない場合は、クリックしてチェックマークをつけます。
6. 増設した機器のデータ転送モードが、PIOモード、マルチワードDMA、または不明の場合は、DMAにチェックマークがついていないことを確認してください。
チェックマークがついている場合は、クリックしてチェックマークをはずしてください。
※ハードディスクを増設した場合の例
「ディスクドライブ」の左側の「+」をクリックし、「GENERIC IDE DISK TYPExx」をクリックしたあと「プロパティ」をクリックし、DMAを確認します。
7. 確認、修正が終了したら、画面に表示されるメッセージに従って、ウィンドウを閉じていきます。

b86.電源 OFF の状態で E-mail ボタンをお使いになる場合

NE シリーズのみ

ご購入時、E-mail ボタンは、電源 OFF(Windows98 が動作していない状態)では動作しない設定になっております。

電源 OFF の状態で E-mail ボタンをお使いになる場合は、次の手順に従って、FM 便利ツールの「かんたんボタン」の設定を変更してください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「FM 便利ツール」、「1.便利ツール」の順にマウスポインタを合わせ、「2.かんたんボタン」をクリックします。
2. 「E-mail」タブの「電源が切れているときでも、このボタンを有効にする」をクリックし、チェックマークをつけます。
3. 「OK」をクリックします。

このように設定することで、電源 OFF の状態で E-mail ボタンを押すと、次のように動作します。

- ①E-mail ボタンを押す
- ②Windows98 が自動的に起動
- ③自動でダイヤルアップ接続
- ④メール受信

なお、電源を切る操作は、添付マニュアルに従って、「スタート」メニューの「Windows の終了」から行ってください。本体右側面の主電源は通常「I」の位置にしておく必要があります。

また、前述の③④の設定については、添付マニュアル「使いこなす本 インターネット編」をご覧ください。

Microsoft および Windows、WindowsNT、MS、MS-DOS、Bookshelf は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Lotus は、Lotus Development Corporation の登録商標です。

1-2-3、Notes は、Lotus Development Corporation の商標です。

一太郎、ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標、または商標です。

広辞苑は、株式会社岩波書店の登録商標です。

K56 flex は、Lucent Technologies 社、Rockwell International 社の商標です。

Viper は、Directed Electronics 社の登録商標で、株式会社ダイヤモンド・マルチメディア・システムズは、ライセンス許可の下に使用しています。全ての権利は、Directed Electronics 社が所有しています。

その他の各製品は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright® 富士通株式会社 1999

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

お使いになるうえでの注意事項

B3FH-A487-03-00

発行日 1999 年 7 月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- ・本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- ・本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- ・無断転載を禁じます。
- ・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

FUJITSU



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。